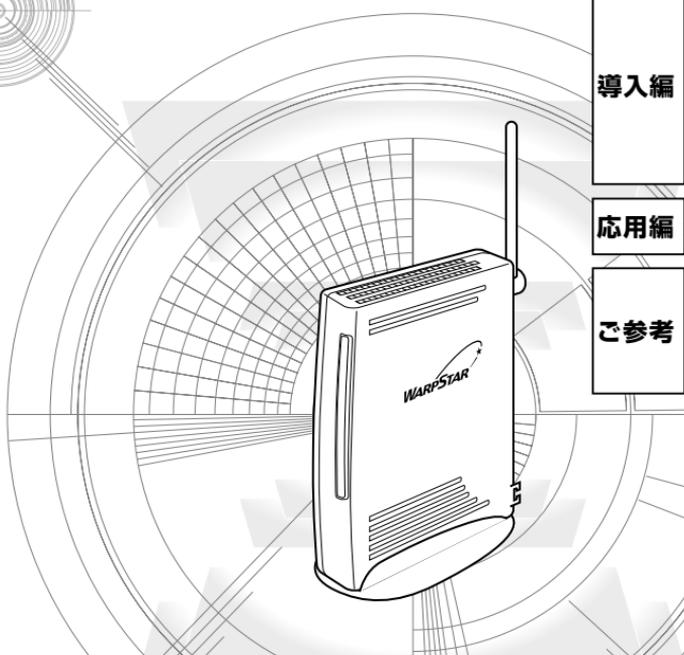
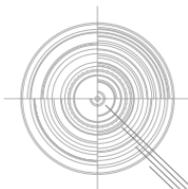
NEC

Aterm® WR6600H シリーズ

取扱説明書 第4版

準備編	1	お使いになる前に
導入編	2	WARPSTARに接続しよう
	3	クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う
	4	インターネットに接続する
応用編	5	WARPSTARを活用しよう
ご参考	6	お困りのときには
	7	付録

※WL54TEおよびWL54TUはXRに対応していません。

- 本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- 「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-2ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
Aterm WR6600H（以下、無線LANアクセスポイント（親機）と呼びます）は、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。
AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、[サポートデスク]－[機能詳細ガイド]を選択してください。

●本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
Aterm WR6600H （WARPSTARベース）	WR6600H（親機） または無線LANアクセスポイント（親機）
Aterm WL54AG/WL54AG（S） / WL54AG-SD（WARPSTARサテライト）	WL54AG（無線LANカード） または無線LAN端末（子機）
Aterm WL54TE （WARPSTARサテライト）	WL54TE（ETHERNETボックス） または無線LAN端末（子機）
Aterm WL54TU （WARPSTARサテライト）	WL54TU（無線USBスティック） または無線LAN端末（子機）

※本書では、WL54AGとワイヤレスセット（TC）に添付のWL54AG（S）、WL54AG-SDを併せて、WL54AGと記載しています。

■電波に関する注意事項

- IEEE802.11a通信利用時は5.2GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
  2.4GHz帯使用のIEEE802.11b/Bluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4　:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS方式およびOFDM方式を示す
4　:想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

Windows® は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Mac、Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
AirMacは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
Netscape® は米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。
“PlayStation®”は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
JavaScript® は米国Sun Microsystems. Inc.の登録商標です。
Linux® は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Acrobat® Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Atheros™、ABG、Super AGおよびTotal 802.11のロゴはAtheros Communications, Inc.の商標であり、NECアクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警　告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ（電源プラグ）は他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）にものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

● 本商品添付の AC アダプタ（電源プラグ）は日本国内 AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

● AC アダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

こんなときは

● 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

● 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

● 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- 植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。
  電波により影響を受ける恐れがあります。

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注　意

電源

- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ（電源プラグ）をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 本商品（WR6600H、WL54TE）のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

- 電気製品・ＡＶ ・ＯＡ 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。

- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線LANに関する注意

- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11aの通信モードは、屋外での使用は電波法により禁止されています。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

　無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
　その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

　本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

　セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

目 次

応用編 本商品をさらに使いこなそう

ご参考

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド：AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、［サポートデスク］－［機能詳細ガイド］を選択してください。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能
アドバンスドNATオプション（ポートマッピング）
静的ルーティング
ダイナミックポートコントロール機能
DNS フォワーディング
通信情報ログ（アクセスログ機能）
UPnP 機能
RIP
アドバンスドNAT（IP マスカレード/NAPT）
静的NAT
IP パケットフィルタリング
DHCP サーバ機能
不正アクセス検出機能
無線LAN アクセスポイントモード（ルータ機能を停止する）
DMZ ホスティング機能

■ WAN 側機能■

PPPoE ブリッジ
複数固定IP サービス対応
シングルユーザアクセスモード
PPP キープアライブ
PPPoE マルチセッション
無通信監視タイマ
VPN パススルー機能

■パソコンインタフェース■

100BASE-TX/10BASE-T スイッチングHUB（4 ポート）

■無線機能■

IEEE802.11a 無線LAN
IEEE802.11g 無線LAN
XR
MAC アドレスフィルタリング機能
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）
アドホック通信
親子同時設定機能
IEEE802.11b 無線LAN
Super AG
暗号化
ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
無線LAN 中継機能
AirMac 対応のパソコンでインターネット接続
ストリーミングモード

■その他の機能■

管理者パスワードの変更
通信確認（疎通確認テスト）
ファームウェアの更新
時刻設定
情報表示（装置情報、状態表示）

目　次

本商品に添付のCD-ROMについて

添付のCD-ROMには下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

① 無線LANカード、無線USBスティックの無線LANのセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）

② WL54TE（ETHERNETボックス）の無線LANのセキュリティ設定を行う「Ethernetボックスマネージャ」（Windows® 版）

③ 無線LANカード、無線USBスティック用のドライバー式（Windows® 版）

【ご使用上のご注意】

Windows® XP/2000 Professional/Meでご使用の方

● 添付のCD-ROMをセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
①Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
②名前の欄に、CD-ROMドライブ名と¥menu.exeと入力し、［OK］をクリックする
（例：CD-ROMドライブ名がQの場合、Q：¥menu.exe）
また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながらCD-ROMをセットします。

● CD-ROMをパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。

● Windows® XP/2000 Professionalでサテライトマネージャ、Ethernetボックスマネージャのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

CD-ROMの動作環境

● Windows® 動作環境

- **Windows® XP/2000 Professional/Meが正しく動作し、CD-ROMドライブが使用できること。**
- **推奨環境**

  ハードディスクの空き容量： 30MB以上を推奨
  Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  メモリ32MB以上
  800 × 600 High-Color以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ
  ※ WL54TU（無線USBスティック）はWindows® Meではご使用になれません。

お知らせ

●表示画面
・サイズ ：800 × 600ピクセル以上
・色　　 ：High-Color以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

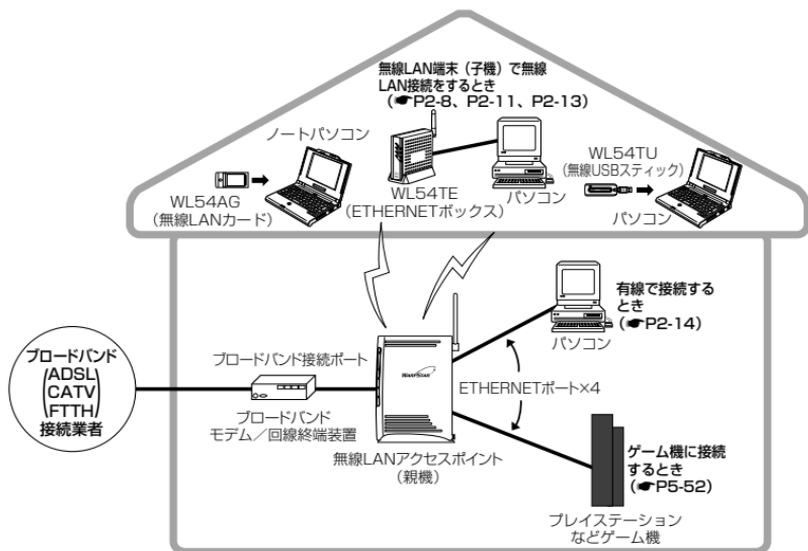
●「メニュー画面」と「らくらく無線スタート」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
・ Windows® ： Altキーを押しながら、Tabキーを押す

準備編　お使いになる前に

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

1 お使いになる前に

1-1 本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH 回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。

本書の「導入編」では、無線 LAN アクセスポイント（親機）に有線で接続したパソコンからクイック設定 Web でインターネットに接続するまでの設定を案内しています。無線 LAN 端末（子機）から設定する場合の設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。
本商品では、さらに本書の「応用編」およびホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。
本書では、機器名称を次のように呼びます。

機器名称	本文中で使用している名称
ADSL モデム、CATV ケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH 回線終端装置	回線終端装置

■無線LAN通信

●**IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠した無線LAN端末（子機）と無線通信を行うことができます。**
※無線で届く範囲は、環境によって異なります。

●**無線LAN内のセキュリティ対策**
他の無線LANパソコンから無線LANアクセスポイント（親機）に接続されるのを防いだり、無線通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。（☛P5-2）
無線通信が外から覗かれたり、無線LANアクセスポイント（親機）に他の無線LAN端末（子機）が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをお勧めします。

●**無線LAN端末（子機）を増設する（☛P5-62）**
無線LAN端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11a通信　：WL54TE/WL54AG/WL54TU/WL54AC
IEEE802.11b通信　：WL54TE/WL54AG/WL54TU/WL11CB/WL11CA/WL11C2/WL11C/WL11U/WL11U(W）/WL11E2
IEEE802.11g通信　：WL54TE/WL54AG/WL54TU
※WL54AG-SD、ワイヤレスセット（TC）に添付のWL54AG（S）はWL54AGに含まれます。
※接続する無線LAN端末（子機）によって通信速度が異なります。
IEEE802.11a通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。
IEEE802.11aの無線LAN端末（子機）とIEEE802.11bまたはIEEE802.11gの無線LAN端末（子機）を同時に使用することはできません。

また、無線LANアクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線LAN内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）
無線LANは、10台以下でのご使用をお勧めします。

●**無線LAN端末（子機）どうしで通信する（アドホックモード）（機能詳細ガイド）**
無線LANアクセスポイント（親機）を経由しないで、無線LAN端末（子機）どうしでデータ通信ができます。
※IEEE802.11a、IEEE802.11b通信モードのみです。IEEE802.11g通信モードでは、アドホックモードはご利用になれません。

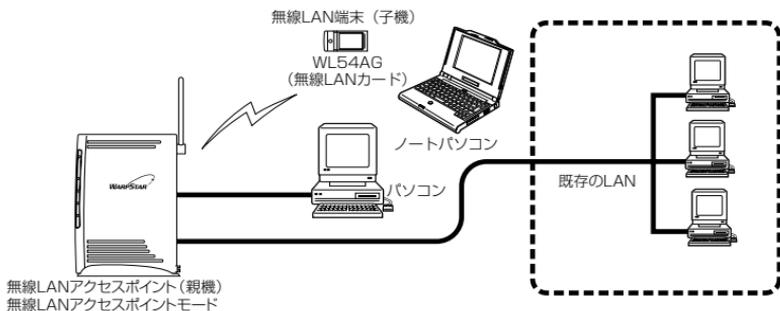
■セキュリティ対策をする（☛P5-2）

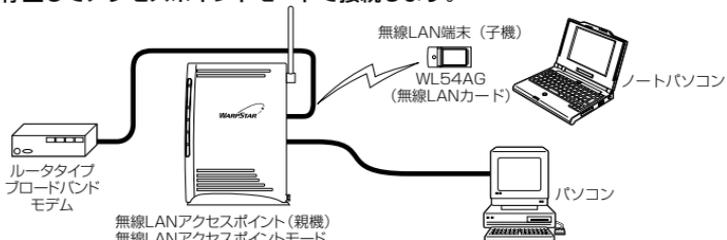
ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（機能詳細ガイド）

・IP パケットフィルタリング
・アドバンスド NAT（IP マスカレード機能）
・不正アクセス検出
・ダイナミックポートコントロール機能

■本商品を無線 LAN アクセスポイントとして使う（☛P5-53）

●既存 LAN に接続する場合

既存 LAN に有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線 LAN アクセスポイントとして使用することができます。

●ルータに接続する場合

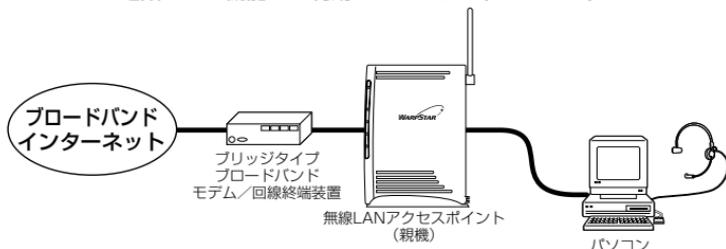
ルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止してアクセスポイントモードで接続します。

■ゲーム機を接続する（☛P5-52）

“PlayStation® 2”などネットワークゲーム機を接続することができます。
使用するゲーム機やゲームソフトがPPPoEでの通信を前提としている場合は、PPPoEブリッジ機能（☛P5-48）で接続できます。（※使用する回線がPPPoE接続方式の場合のみ）

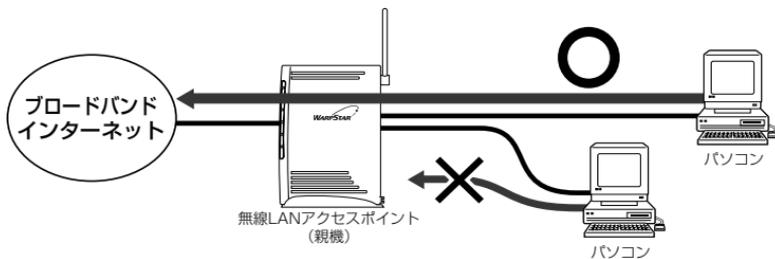
■パソコンのネットワークゲームやTV電話を利用する

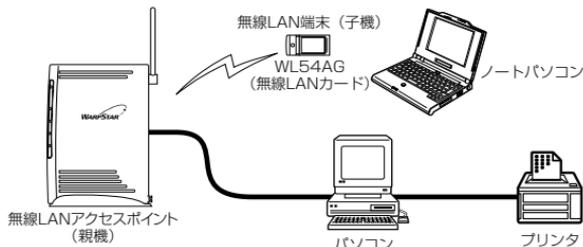
次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。（☛P5-46）

・PPPoEブリッジ機能
・ポートマッピングの設定
・シングルユーザアクセスモード

また、UPnP機能を使用してWindows® XPの“Windows Messenger”サービスなどでTV電話などの機能をご利用になれます。（☛P5-57）

●シングルユーザアクセスモード（☛P5-49）

ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に1台のパソコンでインターネット接続を占有できます。

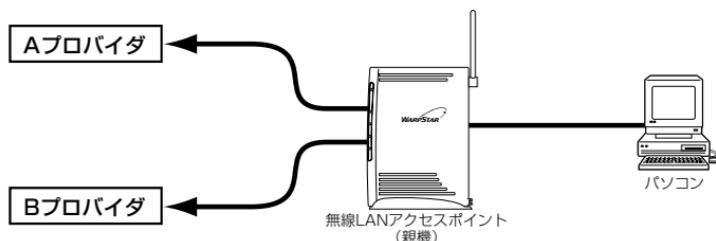
1
お使いになる前に

■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（機能詳細ガイド）

※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■インターネットの通信を切断する

- クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］で切断できます。（機能詳細ガイド）
- 無通信監視タイマ（☛P4-3）

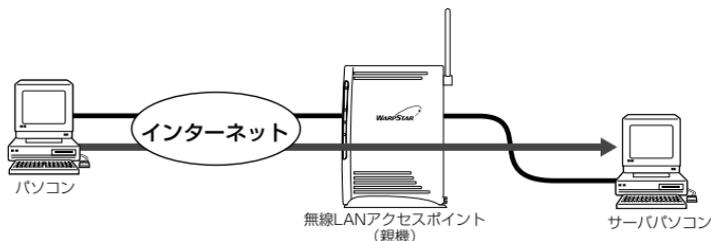
■複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定Webで複数の接続先を登録できます。

●PPPoEマルチセッション（☛P3-12）

1つの回線契約で複数（最大3セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。
同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

■SOHO で使用するときに便利な機能

●ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
（機能詳細ガイド）
アドバンスドNATオプション（ポートマッピング）、DMZホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。

●複数のグローバル固定IPアドレスを付与するサービスを利用する（PPPoE接続利用時のみ）
（複数固定IPアドレス対応）（機能詳細ガイド）
●会社のネットワークに自宅から接続するなどVPNに接続する
（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（機能詳細ガイド）
VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）にPPTP/IPsecで接続できます。

■知っておくと便利な機能　無線LANアクセスポイント（親機）

●バージョンアップする（☛P5-58）
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
●設定を保存する（機能詳細ガイド）
クイック設定Webで、現在の設定内容を保存できます。無線LANアクセスポイント（親機）を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線LANアクセスポイント（親機）に設定内容を復元することができます。
●初期化する（☛P6-26）
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

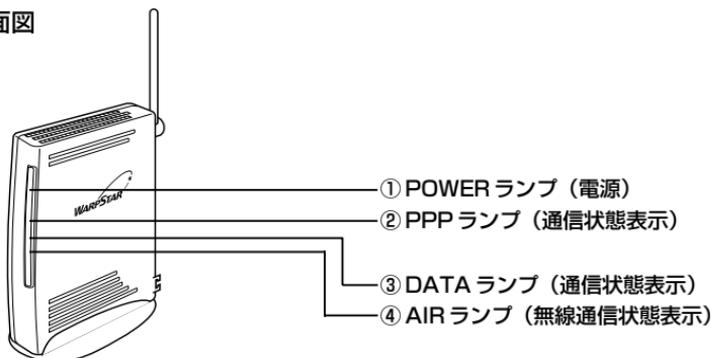
●構成品

□ WR6600H 無線LANアクセスポイント（親機）	□WR6600H用 スタンド □WR6600H用 ACアダプタ	□ETHERNETケーブル（ストレート） ワイヤレスセット（TE）の場合は2本添付されています。ワイヤレスセット（TC）、ワイヤレスセット（TU）、WR6600H単体モデルには1本添付されています。

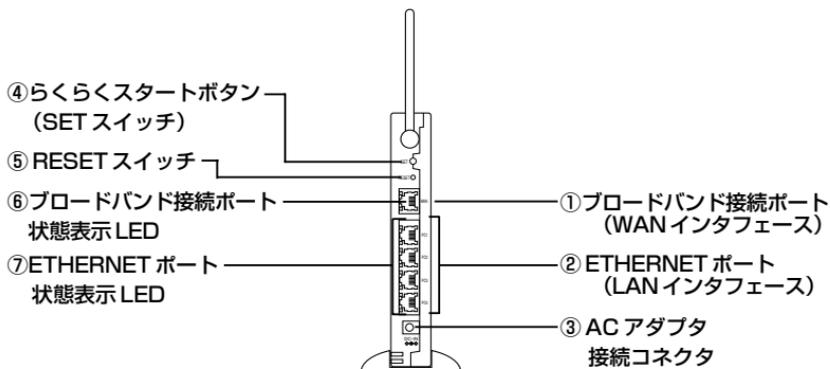
□取扱説明書（本書）	□つなぎかたガイド ワイヤレスセット（TE）の場合は2種類添付されています。	□CD-ROM（ユーティリティ集）	□保証書

1-3 各部の名前とはたらき

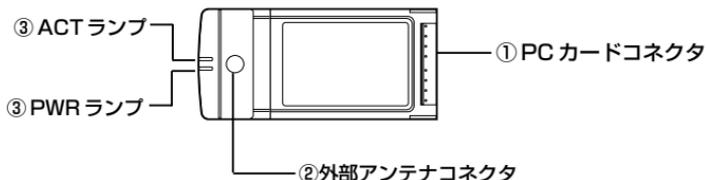
WR6600H（無線LANアクセスポイント（親機））

●前面図

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本商品の状態
① POWERランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき、または「らくらく無線スタート」の設定が完了したとき
	緑（点滅）／橙（点滅）	「らくらく無線スタート」で設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」参照）
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき
	赤（点灯）	「らくらく無線スタート」の設定が失敗したとき
② PPPランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE接続でPPPリンクが確立しているとき
	緑（遅い点滅）	動作モードがPPPoEモードの場合にPPP認証が失敗したとき（1秒間隔）（☛P6-10）
	緑（速い点滅）	動作モードがPPPoEモードの場合に相手から応答がないとき（☛P6-10）
	消灯	動作モードがローカルルータモードのとき、またはPPP未接続のとき
③ DATAランプ（通信状態表示）	緑（点滅）	ETHERNETポートまたは無線で接続された機器がWAN側とデータの送受信をしているとき
④ AIRランプ（無線通信状態表示）	緑（点灯）	無線動作モードがIEEE802.11g＋bモードに設定されているとき
	緑（点滅）	IEEE802.11g＋bモードでデータ送受信中
	橙（点灯）	無線動作モードがIEEE802.11aモードに設定されているとき
	橙（点滅）	IEEE802.11aモードでデータ送受信中

●背面図

名　称	説　明		
①ブロードバンド接続ポート（WANインタフェース）	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。		
②ETHERNETポート（LANインタフェース）	パソコンまたはゲーム機などとの接続に使用します。		
③ACアダプタ接続コネクタ	WR6600H用ACアダプタを接続します。		
④らくらくスタートボタン（SETスイッチ）	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。（☛「つなぎかたガイド」参照）		
⑤RESETスイッチ	初期化するときに使用します。（☛P6-27）		
⑥ブロードバンド接続ポート状態表示LED	緑	点灯	ブロードバンドモデムが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	ブロードバンドモデムと100Mbpsでデータ送受信中
	赤	点灯	ブロードバンドモデムが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	ブロードバンドモデムと10Mbpsでデータ送受信中
⑦ETHERNETポート状態表示LED	緑	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと100Mbpsでデータ送受信中
	赤	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと10Mbpsでデータ送受信中

WL54AG（無線LANカード）

ワイヤレスセット（TC）にのみ添付されています。

① PCカードコネクタ

パソコンのPCカードスロットに差し込みます。

（注）ドライバのインストール時は、ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

②外部アンテナコネクタ

外部アンテナ（別売）を接続するときに使用します。使用するときは、キャップを外してください。

③ PWRランプ（電源）／ACTランプ（通信表示）

【ランプ表示】

PWRランプ、ACTランプのつきかた	WL54AG（無線LANカード）の状態
2つのランプが同時に点滅	通信中 （通信量により点滅速度が変化します）
2つのランプが同時に遅く点滅	通信待機中 （通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません）
2つのランプが交互に遅く点滅	無線LANアクセスポイント（親機）をサーチ中（無線接続が確立されていません）
PWRランプのみ点滅 （ACTランプ消灯）	電源オフ （無線接続オフ設定時、またはドライバ無効の状態）

お願い

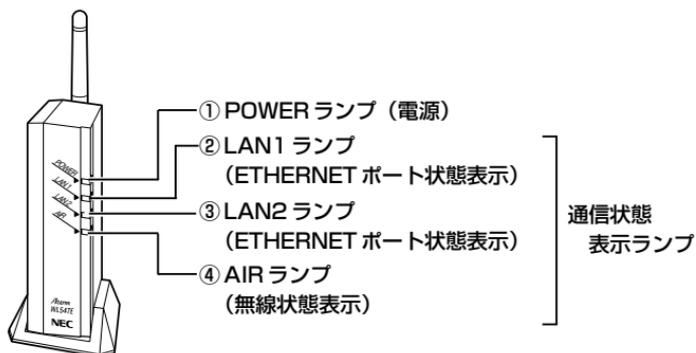
●PCカードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

●WL54AG（無線LANカード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernetポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。

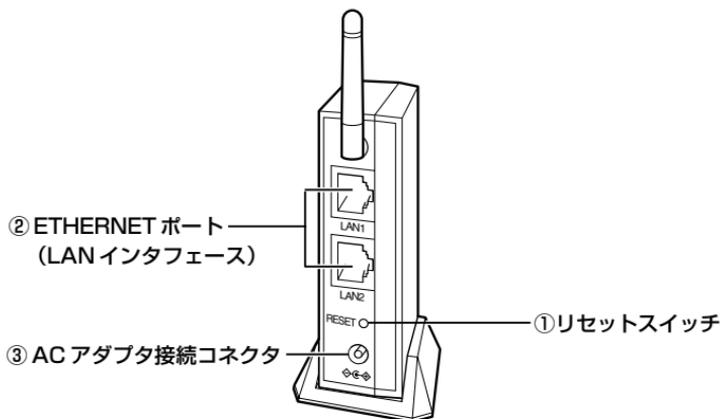
●IEEE802.11aの通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

WL54TE（ETHERNET ボックス）

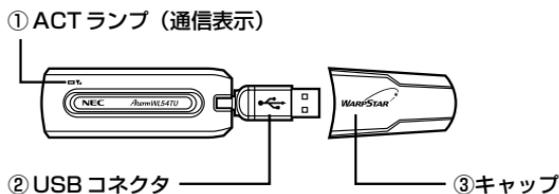
ワイヤレスセット（TE）にのみ添付されています。

●前面図

【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態		WL54TE（ETHERNET ボックス）の状態
①POWER ランプ（電源）	緑	点灯	電源が入っているとき
	消灯		電源が入っていないとき
②LAN1 ランプ（ETHERNET ポート状態表示）	緑	点灯	ETHERNET ポート（LAN1）のリンクが 100Mbps で確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN1）でデータ送受信中（リンク速度 100Mbps）
	橙	点灯	ETHERNET ポート（LAN1）のリンクが 10Mbps で確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN1）でデータ送受信中（リンク速度 10Mbps）
	消灯		ETHERNET ポート（LAN1）のリンクが確立していないとき
③LAN2 ランプ（ETHERNET ポート状態表示）	緑	点灯	ETHERNET ポート（LAN2）のリンクが 100Mbps で確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN2）でデータ送受信中（リンク速度 100Mbps）
	橙	点灯	ETHERNET ポート（LAN2）のリンクが 10Mbps で確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN2）でデータ送受信中（リンク速度 10Mbps）
	消灯		ETHERNET ポート（LAN2）のリンクが確立していないとき
④AIR ランプ（無線状態表示）	緑	遅点滅	IEEE802.11g＋b モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき
		早点滅	IEEE802.11g＋b モードで無線データ送受信中
	橙	遅点滅	IEEE802.11a モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき
		早点滅	IEEE802.11a モードで無線データ送受信中
		点灯	WL54TE（ETHERNET ボックス）のファームウェアをバージョンアップしているとき リセットスイッチを押しているとき
	消灯		無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立されていないとき

●背面図

名　称	説　明
①リセットスイッチ（RESET）	初期化するときに使用します。
②ETHERNET ポート （LAN1、LAN2） （LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。
③AC アダプタ接続コネクタ	添付の WL54TE 用 AC アダプタを接続します。

WL54TU（無線USBスティック）

①ACTランプ（通信表示）

②USBコネクタ

③キャップ

① ACTランプ
　通信可能状態およびデータ通信中に青色で点滅します。

② USBコネクタ
　パソコンのUSBポートに差し込み接続します。

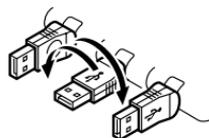
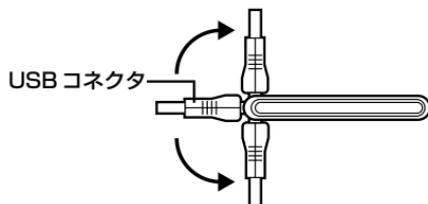
③キャップ
　使用するときは、キャップを外してください。

お願い

●WL54TU（無線USBスティック）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernetポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。

●IEEE802.11aの通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

お知らせ

●USBコネクタは、下図のように折り曲げたり、回転して使用できます。

1-4 あらかじめ確認してください

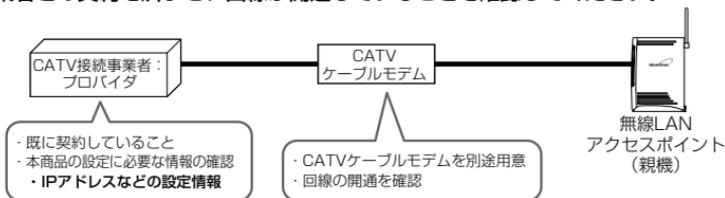
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

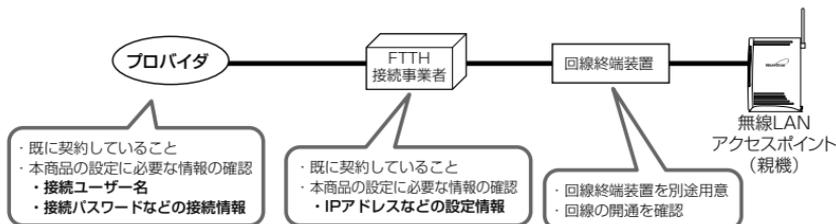
回線契約とプロバイダの加入について

■ADSL 接続の場合

ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。
※ ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。

■CATV（ケーブルテレビ）インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

■FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめ FTTH サービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。

※ 接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation の「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P1-23）**
- **プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること**
- **ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止**

  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに有線で接続する場合、WL54TE（ETHERNET ボックス）から無線で接続する場合〉

- **ETHERNET（イーサーネット） ポート（LAN ポート）を装備していること**

  お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- **TCP/IP プロトコルスタックに対応していること**

  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法はホームページに掲載されている「Ⓦ機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P1-18）**
- **WL54TE（ETHERNET ボックス）にゲーム機を接続し、ゲームを使用するときは WL54TE（ETHERNET ボックス）と接続機器の間にハブなどを接続しないでください。**

〈WL54AG（無線 LAN カード）から無線で接続する場合〉

- **Card Bus（カードバス）準拠の PC カードスロットが装備されていること**

〈WL54TU（無線 USB スティック）から無線で接続する場合〉

- **USB ポート（USB2.0 推奨）を装備していること**

※ USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは AtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。WL54TU（無線 USB スティック）の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

〈接続可能な機器〉

OS 等	無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポート	WL54AG（無線 LAN カード）	WL54TE（ETHERNET ボックス）	WL54TU（無線 USB スティック）
Windows®	○	○ Windows® XP/2000 Professional/Me（日本語版）のみ	○	○ Windows® XP/2000 Professional（日本語版）のみ
Macintosh	○	×	○	×
その他 OS（Linux 等）	○	×	○	×
ゲーム機	○	×	○	×

お願い

●OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® をご利用の場合（☛P1-18～P1-21）
Mac OS をご利用の場合（☛P1-22）

■ Windows® をご利用の場合

Windows® XP をご利用の場合

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする
3. ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする
5. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6. ［OK］をクリックする
7. ［OK］をクリックする

お知らせ

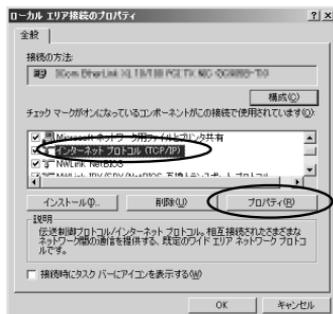
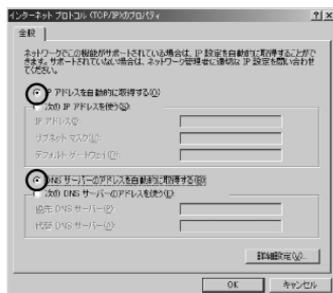
- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- 本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示モード）を前提に記述しています。

Windows® 2000 Professionalをご利用の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

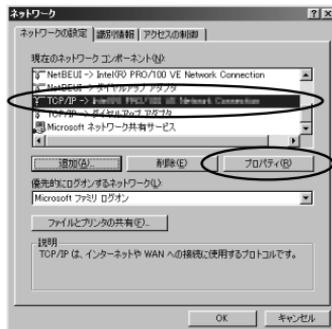
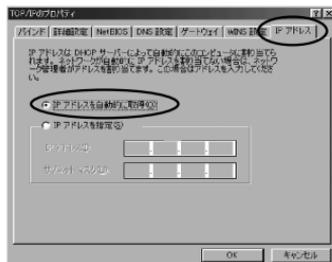
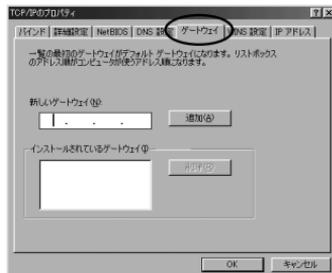
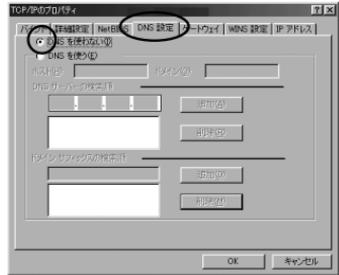
4 リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

Windows® Me/98SE/98 をご利用の場合

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする

3. リストの［TCP/IP–>（お使いのLANカードまたはお使いのLANボード）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

4. ［IPアドレス］タブをクリックし、［IPアドレスを自動的に取得］を選択する

5. ［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する

6 ［DNS 設定］タブをクリックし、［DNS を使わない］を選択する

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

■Mac OS をご利用の場合

Mac OS X をご利用の場合

1 アップルメニューの［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンをクリックする

2 ［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［TCP/IP］タブをクリックして、［設定］を［DHCP サーバを参照］にする

3 ［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン］を空白にする

4 ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

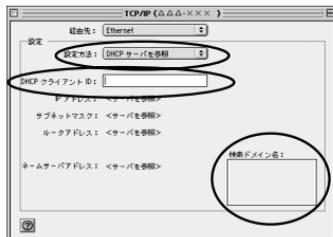
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合

1 アップルメニューの［コントロールパネル］－［TCP/IP］を開く

2 ［経由先］を［Ethernet］にする

3 ［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる

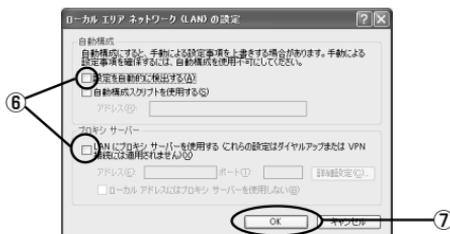
画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

4 確認のダイヤログが表示されたら［保存］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）の接続設定を「ダイヤルしない」「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows® XP/2000 Professional/Me で Internet Explorer Ver.6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。
③ ［接続］タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する。

⑤ ［LAN の設定］をクリックする。
⑥「設定を自動的に検出する」と［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外す。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

⑦ ［OK］をクリックする。

お知らせ

● プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定Web）で設定を行うにはJavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※ WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScript® を「有効にする」に設定してください。

Windows® でInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Windows® XPでInternet Explorer Ver.6.0を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional/Me/98で設定する場合やInternet Explorer Ver.5.5以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］－［クラシック表示に切り替える］－［インターネットオプション］をダブルクリックする
2. ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする
3. ［サイト］をクリックする
4. ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

5. ［次のWebサイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［OK］をクリックする
   ※ IPアドレス（工場出荷時は192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。
   （例：「192.168.0.1」）
   無線LANアクセスポイントモードに設定した場合やIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする

7 ［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

Windows® で Netscape® をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional/Me/で設定する場合や Netscape® 7.0 以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

1. Netscape® を起動する
2. メニューバーの［編集］－［設定］をクリックする
3. ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる
5. ［OK］をクリックする

Mac OS で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Mac OS で Internet Explorer Ver.5.1 を使用している場合の例です。なお、Internet Explorer Ver.5.1 以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

1. Internet Explorer を起動してメニューバーの［Explorer］から［環境設定］をクリックする

2. ［Web ブラウザ］から［セキュリティゾーン］をクリックする

3. ［ゾーン］から［信頼済みサイトゾーン］をクリックする

4. ［サイトの追加］をクリックする

5. ［追加］をクリックする

6. 「http://web.setup/」と入力する

※ IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。（例：「192.168.0.1」）
無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合や、IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

7. ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

8. ［Web ブラウザ］から［Web コンテンツ］をクリックする

9. ［アクティブコンテンツ］で、［スクリプトを有効にする］にチェックを入れる

10. ［OK］をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする

※ Internet Explorer を一度終了させないと、設定は反映されません。

Mac OS で Netscape® をご利用の場合

以下は、Mac OS で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。なお、Mac OS で Netscape® 6.1 以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

1. Netscape® を起動する

2. メニューバーの［Netscape］－［環境設定］をクリックする

3. ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする

4. ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5. ［OK］をクリックする

6. メニューバーの［Netscape］から［Netscape を終了］をクリックし、Netscape® を終了させる

   ※ Netscape® を一度終了させないと、設定は反映されません。

導入編　インターネットに接続しよう

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

設定方法について

無線 LAN で設定する場合には、「つなぎかたガイド」を参照して①らくらく無線スタート→②クイック設定 Web の順で設定してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから設定する場合は、クイック設定 Web で設定します。

1 ● らくらく無線スタートで設定する

WL54AG（無線 LAN カード）／WL54TU（無線 USB スティック）／WL54TE（ETHERNET ボックス）を接続する場合の設定方法です。
無線 LAN カード／無線 USB スティックのドライバのインストールや無線設定を簡単に行うことができます。

・WL54AG（無線 LAN カード）／WL54TU（無線 USB スティック）の場合、サテライトマネージャのインストールが必要です。

<サテライトマネージャが使用できるパソコン>
Windows® XP/2000 Professional/Me（日本語版）

※WL54TU（無線 USB スティック）は Windows ® Me ではご使用になれません。

※音声ガイドを再生するには、パソコンに WAV ファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

※Windows ® XP（Service Pack 2 以降）を搭載したパソコンの場合、無線 LAN 内蔵パソコン等でも「らくらく無線スタート EX」で設定することができます。

2 ● クイック設定 Web（WWW ブラウザ）で設定する

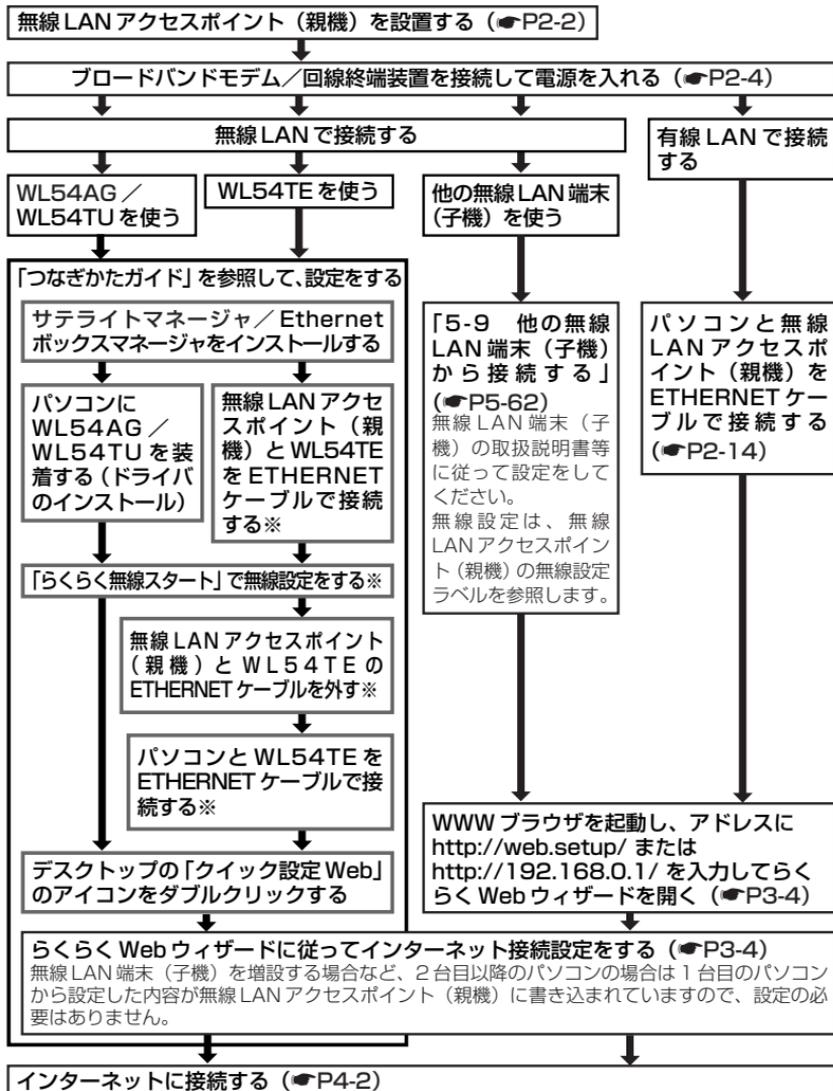
WWW ブラウザの画面で、ドライバのインストール以外の本商品のすべての設定が行えます。
本商品をご購入後、はじめてクイック設定 Web を開くと「らくらく Web ウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。

※クイック設定 Web からの設定では、WL54AG（無線 LAN カード）／WL54TU（無線 USB スティック）のドライバのインストールが行えません。WL54AG（無線 LAN カード）／WL54TU（無線 USB スティック）から設定を行う場合は、WL54AG（無線 LAN カード）／WL54TU（無線 USB スティック）のドライバのインストール後、らくらく無線スタートなどで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信が確立してからクイック設定 Web での設定を行ってください。

<設定できる WWW ブラウザ>
Windows®XP/2000 Professional/Me/98SE/98 の場合
　Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応
　Netscape 6.1 以上に対応
Mac OS X/9.x/8.x の場合
　Microsoft Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応
　Netscape 6.01 以上に対応
PlayStation®2 用"PlayStation®"BB Navigator Ver.0.31
（らくらく Web ウィザードのみ）

〈画面例〉

セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの流れです。

※ワイヤレスセット（TE）では、WR6600H（親機）とWL54TE（ETHERNETボックス）の無線設定を設定済みで出荷していますのでWL54TE（ETHERNETボックス）のらくらく無線スタートの設定は不要です。

2 WARPSTARに接続しよう

2

2-1 無線LANアクセスポイント（親機）を設置する

無線LANアクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう

無線LANアクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

- ●無線LANアクセスポイント（親機）はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置こう
- ●無線LANアクセスポイント（親機）用の電源コンセントはありますか？
  電源コンセントを確保しましょう。
- ●無線LAN端末（子機）は無線LANアクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置こう
  設定するときは無線LANアクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。

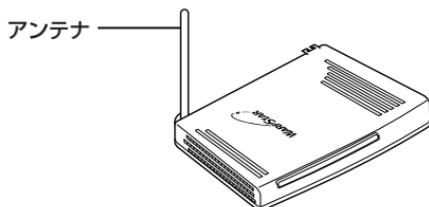
お知らせ

- ●無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）は1m以上離してお使いください。

■縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。

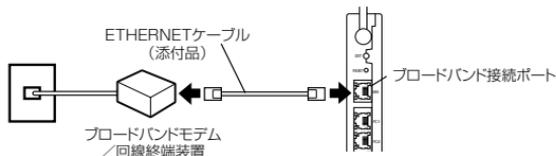
■横置きの場合

図のように設置し、アンテナを立てます。

●縦置きで設置の際は、両側に20mm（スタンドの幅）以上のスペースを確保してください。狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり、火災の原因となることがあります。

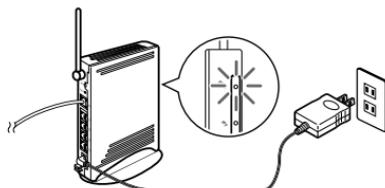
2-2 接続して電源を入れる

あらかじめブロードバンドモデム／回線終端装置に直接パソコンを接続してインターネット接続できることを確認しておくことをお勧めします。

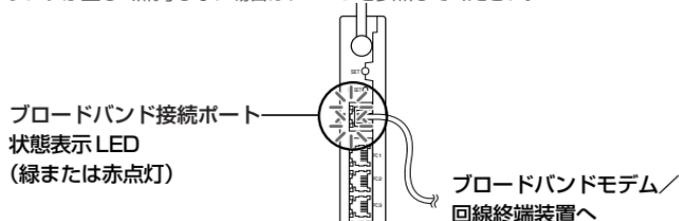
1 ブロードバンドモデム／回線終端装置に接続する

無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモデム／回線終端装置をETHERNETケーブルで接続します。

2 ACアダプタを無線LANアクセスポイント（親機）に取り付ける

3 ACアダプタを壁の電源コンセントに接続する

POWERランプが緑点灯します。

※ACアダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
※ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ（電源プラグ）は他の製品に使用しないでください。

4 背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯していることを確認する

ランプが正しく点灯しない場合は、P2-5を参照してください。

お願い

●無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯しないときは

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯しないときは、無線LANアクセスポイント（親機）とブロードバンドモデム／回線終端装置が正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

① ETHERNETの接続を確認する
無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。
ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

② ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認する
接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリー5）」であることを確認してください。（☛P7-4）

③ ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認する

④ 無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認する

①～④を行っても問題が解決しない場合は、以下の確認をしてください。
無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポート（PC1）を添付のETHERNETケーブルで接続してみる。

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが
点灯する場合 ………無線LANアクセスポイント（親機）は、問題ありません。ブロードバンドモデム/回線終端装置が故障している可能性があります。
点灯しない場合 ……無線LANアクセスポイント（親機）を初期化してみてください。それでも解決しない場合は無線LANアクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。

お知らせ

●ブロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプのETHERNETケーブルを自動認識できます。（Auto MDI-X対応）
●PPPoEの外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらくWebウィザードまたはクイック設定Webで設定をしてください。

ブロードバンドモデムの種類と無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードについて

ブロードバンドモデムによって設定する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モード（PPPoE モード、ローカルルータモード、無線 LAN アクセスポイントモード）が異なりますので、あらかじめ確認しておきましょう。実際の設定は、らくらく Web ウィザード、クイック設定 Web の設定の中で行います。

＜回線種別と動作モード＞

<table>
<tr><th rowspan="2">回線の種別</th><th rowspan="2">接続事業者（例）（敬称略）</th><th colspan="2">らくらく Web ウィザード/クイック設定 Web の設定</th></tr>
<tr><th>無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能</th><th>PPPoE 接続機能</th></tr>
<tr><td rowspan="4">FTTH・光ファイバーに接続</td><td>NTT 東日本／西日本
B フレッツ</td><td rowspan="4">使用する
（ルータモード）</td><td rowspan="3">使用する</td></tr>
<tr><td>東京電力
TEPCO ひかり</td></tr>
<tr><td>ケイ・オプティコム
eo ホームファイバー</td></tr>
<tr><td>有線ブロードネットワークス（IP 接続で接続する事業者の場合）</td><td>使用しない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ADSL 回線に接続</td><td>NTT 東日本／西日本
フレッツ・ADSL（※ 1）</td><td rowspan="4">使用する（ルータモード）または使用しない（無線 LAN アクセスポイントモード）（※ 3）</td><td>使用する</td></tr>
<tr><td>イー・アクセス（※ 2）</td><td rowspan="3">使用しない</td></tr>
<tr><td>アッカ・ネットワークス（※ 2）</td></tr>
<tr><td>その他の ADSL 接続事業者（※ 2）</td></tr>
<tr><td>Yahoo! BB</td><td>使用する
（ルータモード）</td><td>使用しない</td></tr>
<tr><td>CATV 回線に接続</td><td>－</td><td>使用する
（ルータモード）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>社内 LAN などのネットワークに接続</td><td>－</td><td>使用する
（ルータモード）</td><td>－</td></tr>
</table>

※ 1 ADSL モデムがルータタイプ、IP 電話対応タイプの場合は、「無線 LAN アクセスポイントモード」または「PPPoE 接続機能：使用しない」でのご利用を、ADSL モデムがブリッジタイプの場合は「ルータモード（PPPoE 接続機能：使用する）」でのご利用をお勧めします。

※ 2 プロバイダまたは ADSL 接続事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE ブリッジタイプまたは、PPPoE ブリッジモードへ変更可能な場合があります。PPPoE ブリッジでご使用の場合は、[PPPoE 接続機能：使用する] を選択してください。

※ 3 ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードの使い分け、お勧めの環境については 2-7 ページを参照してください。

お知らせ

●ローカルルータモードと無線LANアクセスポイントモードでは次のような違いがあります。ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

＜ローカルルータモードと無線LANアクセスポイントモードの使い分け＞

	お勧めの環境	**制限事項など**	
		ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	**無線ＬＡＮアクセスポイント（親機）の設定（サテライトマネージャの親子同時設定など）**
ローカルルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。	設定を行えます。
無線LANアクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	設定した無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを指定する必要があります。

●WAN側に接続するルータのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを変更する必要があります。（☛P6-12）

●PPPoE機能について
フレッツ･ADSL、Bフレッツなど PPPoEブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

2-3 無線LAN端末（子機）を接続する場合

ここでは無線LAN端末（子機）を接続する場合の注意事項などについて説明しています。実際の無線LAN端末（子機）の接続や設定は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL54AG（無線LANカード）で無線LAN接続する場合

WL54AG（無線LANカード）をパソコンに接続するときは、①ドライバのインストール→②無線LANの設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。
WL54AG（無線LANカード）を接続できるのはWindows® XP/2000 Professional/Meのみです。Macintoshではご利用になれません。
WL54AG（無線LANカード）は、Card Bus準拠のPCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

お願い

●WL54AG（無線LANカード）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にWL54AG（無線LANカード）を差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWL54AG（無線LANカード）のドライバが正しくインストールできない場合や、正しく通信できない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。(☛P2-9、P2-10)
●無線LAN内蔵パソコンにWL54AG（無線LANカード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
●サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL54AG（無線LANカード）をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックし、WL54AG（無線LANカード）を取り外してください。
●あとからWL54AG（無線LANカード）を追加で購入して使用する場合は、本商品に添付のCD-ROMを使用してください。
●WL54AG（無線LANカード）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

LANカードまたはLANボード機能を停止させるには

ETHERNETインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないと無線LAN端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作でLANカードまたはLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

〈Windows® XPの場合〉

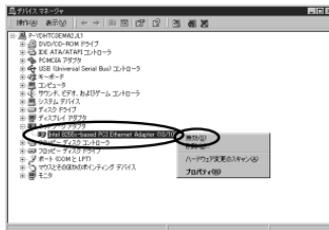
① ［スタート］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをダブルクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑧ ［はい］をクリックする

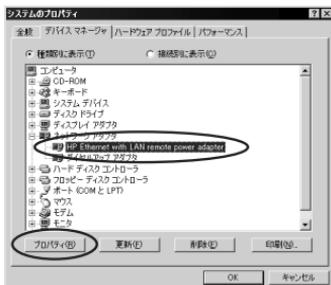
〈Windows® 2000 Professionalの場合〉

① ［スタート］—［設定］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

（次ページに続く）

LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

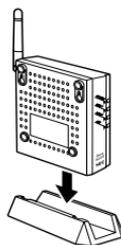
〈Windows® Me の場合〉

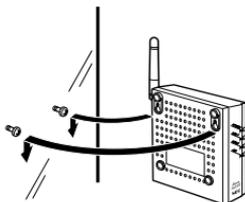
① ［スタート］—［設定］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］をクリックする

⑥ ［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックし、［OK］をクリックする

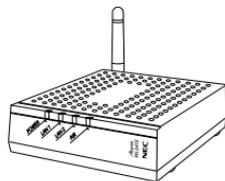
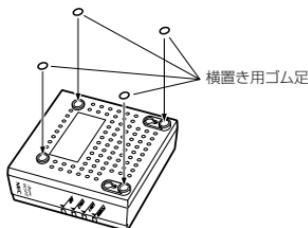
WL54TE（ETHERNETボックス）で無線LAN接続する場合

WL54TE（ETHERNETボックス）をパソコンに接続するときは、①設置→②パソコンとの接続→③無線LANの設定の順で設定を行っていきます。
実際の手順は「つなぎかたガイド」または「5-3　WL54TE（ETHERNETボックス）を設定する」（☛P5-26）を参照してください。

■縦置きの場合

図のように縦置きスタンドを取り付けます。
設置の際は無線状態を最適にするため、アンテナが垂直になるように設置してください。
※スタンドと本体の向きを合わせてください。

■壁掛けの場合

図のように壁に取り付けます。
※壁に取り付ける際は、あらかじめ壁掛け用台紙に合わせて添付のネジで取り付けてください。

■横置きの場合

添付の横置き用のゴム足を取り付け、図のように設置し、アンテナを立てます。

お願い

ゲーム機のMACアドレスを必要とするゲームアプリケーションをご利用の際に、複数台の機器を接続する場合は、以下の手順で接続してください。

①無線LANアクセスポイント（親機）とWL54TE（ETHERNETボックス）の無線接続を確立する

②ゲーム機をWL54TE（ETHERNETボックス）のETHERNETポートに接続する
（接続はLAN1、LAN2どちらでもかまいません。もう片方のETHERNETポートには、他の機器を接続しないでください。）

③WL54TE（ETHERNETボックス）の電源を入れ直す

この手順後は、空いているETHERNETポートにパソコンやゲーム機を接続することができます。

WL54TU（無線USBスティック）で無線LAN接続する場合

WL54TU（無線USBスティック）をパソコンに接続するときは、①ドライバのインストール→②無線LANの設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL54TUを無線LAN端末（子機）としてご利用になれるOSは、Windows® XP/2000 Professionalのみです。Macintoshではご利用になれません。
WL54TU（無線USBスティック）は、USBポート（USB2.0推奨）を装備したパソコンに取り付けることができます。

お願い

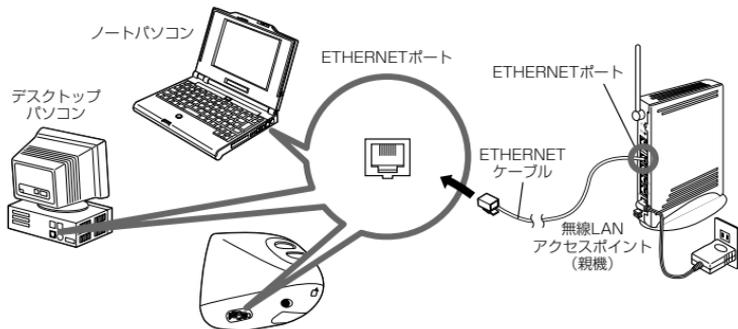
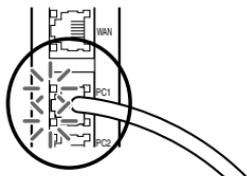
●USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。WL54TU（無線USBスティック）のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。
●WL54TU（無線USBスティック）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にWL54TU（無線USBスティック）を挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWL54TU（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
●無線LAN内蔵パソコンにWL54TU（無線USBスティック）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
●サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL54TU（無線USBスティック）をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックして、WL54TU（無線USBスティック）を取り外してください。
●WL54TU（無線USBスティック）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
●WL54TU（無線USBスティック）のUSBコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
●USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
●WL54TU（無線USBスティック）のUSBコネクタを無理に折り曲げたり、無理に回転させたりしないでください。
●隣り合うUSBポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合があります。また、USBインタフェースにWL54TU（無線USBスティック）を接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。
●WL54TU（無線USBスティック）とWL54AGなどの無線LANカードを同時に使用することはできません。同時に接続してしまった場合は、両方をいったん取り外して接続し直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。

2-4 有線で接続する場合

無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートにパソコンを接続する

無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートにパソコンを接続するときは、①パソコンの接続→②インターネット接続の設定の順で設定を行っていきます。インターネット接続の設定は、［クイック設定Web］で行います。

1 無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートとパソコンのETHERNETポートをETHERNETケーブルで接続する

ETHERNETポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 無線LANアクセスポイント（親機）とパソコンの電源が入っていることを確認して、ETHERNETポート状態表示LEDが緑または赤点灯することを確認する

お願い

●あらかじめ、お使いのパソコンにLANカード／LANボードの組み込みとネットワークコンポーネントのインストールをしておく必要があります。LANカード／LANボードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

3 クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う

設定の流れ

3 章では、無線LANアクセスポイント（親機）のクイック設定Web をはじめて開いたときに表示される「らくらくWebウィザード」でインターネットに接続するまでの設定を説明しています。

※無線LAN端末（子機）を接続する場合は、「つなぎかたガイド」を参照してください。
※WL54TE（ETHERNETボックス）のクイック設定Webでの設定方法については「5-3 WL54TE（ETHERNETボックス）を設定する」（☛P5-26）を参照してください。

無線LANアクセスポイント（親機）を設置する（☛P2-2）

↓

ブロードバンドモデム／回線終端装置を接続して電源を入れる（☛P2-4）

↓

- 無線LANで接続する
  - WL54AG／WL54TUを使う
  - WL54TEを使う
    - 「つなぎかたガイド」を参照して、設定をする
      - サテライトマネージャ／Ethernetボックスマネージャをインストールする
      - パソコンにWL54AG／WL54TUを装着する（ドライバのインストール）（WL54AG／WL54TUの場合）
      - 無線LANアクセスポイント（親機）とWL54TEをETHERNETケーブルで接続する※（WL54TEの場合）
      - 「らくらく無線スタート」で無線設定をする※
      - 無線LANアクセスポイント（親機）とWL54TEのETHERNETケーブルを外す※（WL54TEの場合）
      - パソコンとWL54TEをETHERNETケーブルで接続する※（WL54TEの場合）
      - デスクトップのクイック設定Webのアイコンをダブルクリックする
  - 他の無線LAN端末（子機）を使う
    - 「5-9　他の無線LAN端末（子機）から接続する」（☛P5-62）
無線LAN端末（子機）の取扱説明書等に従って設定をしてください。
無線設定は、無線LANアクセスポイント（親機）の無線設定ラベルを参照します。
    - WWWブラウザを起動し、アドレスにhttp://web.setup/ または http://192.168.0.1/ を入力してらくらくWebウィザードを開く（☛P3-4）
- 有線LANで接続する
  - パソコンと無線LANアクセスポイント（親機）をETHERNETケーブルで接続する（☛P2-14）
  - WWWブラウザを起動し、アドレスにhttp://web.setup/ または http://192.168.0.1/ を入力してらくらくWebウィザードを開く（☛P3-4）

↓

らくらくWebウィザードに従ってインターネット接続設定をする（☛P3-4）
無線LAN端末（子機）を増設する場合など、2台目以降のパソコンの場合は1台目のパソコンから設定した内容が無線LANアクセスポイント（親機）に書き込まれていますので、設定の必要はありません。

↓

インターネットに接続する（☛P4-2）

※ワイヤレスセット（TE）では、WR6600H（親機）とWL54TE（ETHERNETボックス）の無線設定を設定済みで出荷していますのでWL54TE（ETHERNETボックス）のらくらく無線スタートの設定は不要です。

3-1 クイック設定Webで設定を行うには

無線LANアクセスポイント（親機）を接続する

クイック設定Webで設定を行うには、あらかじめ無線LANアクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートに接続する場合（☛P2-14）
ゲーム機を接続する場合（☛P5-52）

無線LAN端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

クイック設定Webを利用するための準備

無線LANアクセスポイント（親機）と接続できているかどうかは、IPアドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■Windows® XP/2000 Professionalの場合

① ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
② “ipconfig /renew”を入力して［Enter］キーを押す
③ IPアドレス（IP Address）が“192.168.0.XXX”になることを確認する

■Windows® Me/98SE/98の場合

（※WL54AGはWindows® Meのみご利用になれます。WL54TUはWindows® Me/98SE/98ではご利用になれません。）

① ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする
② “winipcfg”を入力して［OK］をクリックする
③ Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）と接続しているネットワークアダプタ名を選択する
④ ［すべて解放］をクリックする
⑤ ［再取得］をクリックする
⑥ IPアドレスが“192.168.0.XXX”になることを確認する
⑦ ［OK］をクリックする

■Mac OS Xの場合

① アップルメニューから［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンを選択する
② IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する

■Mac OS 9.x/8.xの場合

① アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択する
② IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する

3-2 インターネット接続のための基本設定

クイック設定 Web をはじめて起動する場合には、らくらく Web ウィザードが起動します。らくらく Web ウィザードでは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

お願い

●クイック設定 Web が起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。（☛P1-18）

お知らせ

●クイック設定 Web、らくらく Web ウィザードが利用できる WWW ブラウザについては、「設定方法について」（☛P 導入-1）を参照してください。
●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。
●PlayStation® BB Navigator を使ってクイック設定 Web で設定を行えるのは、「3-2 インターネット接続のための基本設定」のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。

らくらく Web ウィザードで設定する

お知らせ

●以下の手順は既にらくらく Web ウィザードで本商品の設定が完了している場合は表示されません。
この場合のクイック設定 Web での設定の方法についてはホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

1 **パソコンなどを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く**

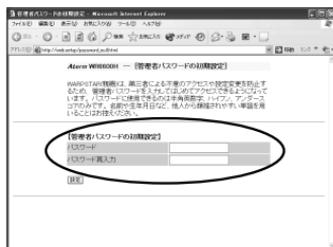
無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

サテライトマネージャ/Ethernet ボックスマネージャをインストールした場合はデスクトップにある［クイック設定 Web］のアイコンをダブルクリックします。

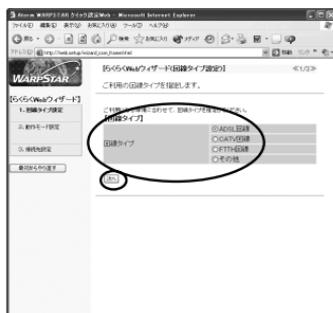
3 管理者パスワードの初期設定を行う

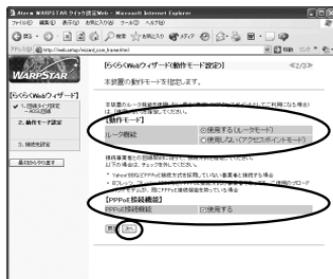
画面に従ってパスワードを設定してください。

一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワードメモ欄	

4 ［設定］をクリックする

5 利用している接続回線を選択し、［次へ］をクリックする

6 ご使用の環境に合わせて動作モードと PPPoE 機能の設定を行い、［次へ］をクリックする

回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。

（次ページに続く）

お知らせ

●＜回線種別と動作モード＞

<table>
<tr><th>回線の種別</th><th>接続事業者（例）（敬称略）</th><th>無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能</th><th>PPPoE接続機能</th></tr>
<tr><td rowspan="4">FTTH・光ファイバーに接続</td><td>NTT東日本／西日本
Bフレッツ</td><td rowspan="4">使用する
（ルータモード）</td><td rowspan="3">使用する</td></tr>
<tr><td>東京電力
TEPCOひかり</td></tr>
<tr><td>ケイ・オプティコム
eoホームファイバー</td></tr>
<tr><td>有線ブロードネットワークス（IP接続で接続する事業者の場合）</td><td>使用しない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ADSL回線に接続</td><td>NTT東日本／西日本
フレッツ・ADSL（※1）</td><td rowspan="4">使用する（ルータモード）または使用しない（無線LANアクセスポイントモード）（※3）</td><td>使用する</td></tr>
<tr><td>イー・アクセス（※2）</td><td rowspan="3">使用しない</td></tr>
<tr><td>アッカ・ネットワークス（※2）</td></tr>
<tr><td>その他のADSL接続事業者（※2）</td></tr>
<tr><td>Yahoo! BB</td><td>使用する
（ルータモード）</td><td>使用しない</td></tr>
<tr><td>CATV回線に接続</td><td>—</td><td>使用する
（ルータモード）</td><td>—</td></tr>
<tr><td>社内LANなどのネットワークに接続</td><td>—</td><td>使用する
（ルータモード）</td><td>—</td></tr>
</table>

※1 ADSLモデムがルータタイプ、IP電話対応タイプの場合は、「無線LANアクセスポイントモード」または「PPPoE接続機能：使用しない」でのご利用を、ADSLモデムがブリッジタイプの場合は「ルータモード（PPPoE接続機能：使用する）」でのご利用をお勧めします。
※2 プロバイダまたはADSL接続事業者によっては、ADSLモデムがPPPoEブリッジタイプまたは、PPPoEブリッジモードへ変更可能な場合があります。PPPoEブリッジでご使用の場合は、［PPPoE接続機能：使用する］を選択してください。
※3 ルータモード（ローカルルータモード）と無線LANアクセスポイントモードの使い分け、お勧めの環境については3-7ページを参照してください。

●ローカルルータモードと無線LANアクセスポイントモードでは次のような違いがあります。
ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

<ローカルルータモードと無線LANアクセスポイントモードの使い分け>

	お勧めの環境	制限事項など	
		ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	無線ＬＡＮアクセスポイント（親機）の設定（サテライトマネージャの親子同時設定など）
ローカルルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。	設定を行えます。
無線LANアクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	設定した無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを指定する必要があります。

●WAN側に接続するルータのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを変更する必要があります。（☛P6-12）
●PPPoE機能について
フレッツ・ADSL、Bフレッツなど PPPoE ブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

（次ページに続く）

7 表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力する

●接続先設定〈PPPoE〉の場合（手順６で「PPPoE 接続機能：使用する」を選択時）

①［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

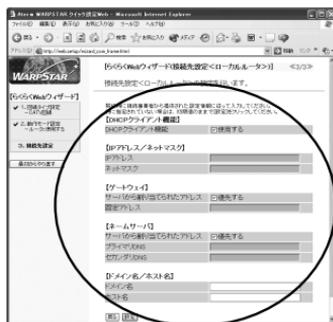
②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ユーザー名」
（例： XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力する。

③フレッツ・スクウェアの接続先登録を行うかどうかの選択をします。

※「B フレッツ」「フレッツ・ ADSL」をご利用の場合のみ選択します。
静的ルーティングの設定も自動的に行われます。

●接続先設定〈ローカルルータ〉の場合（手順６で「PPPoE 接続機能：使用しない」を選択時）

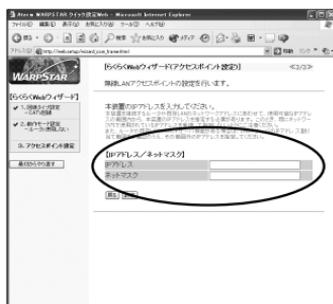
ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

!

次の画面が表示された場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンドモデムの接続を確認し、［OK］をクリックします。

DHCP クライアント機能：
　WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は［使用する］に☑します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックを外してください。
IP アドレス/ネットマスク：
　接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。
ゲートウェイ：
　接続事業者から指定されている場合は［優先する］の☑を外し、［固定アドレス］に入力します。特に指定されていない場合は特に指定する必要はありません。
プライマリ DNS ／セカンダリ DNS ：
　サーバから自動で取得する場合は、［優先する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、チェックを外し、そのアドレスを入力します。
ドメイン名／ホスト名：
　接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

●無線 LAN アクセスポイント設定の場合（手順 6 で「ルータ機能：使用しない」を選択時）

ご使用の環境に合わせて無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレス／ネットマスクを設定します。

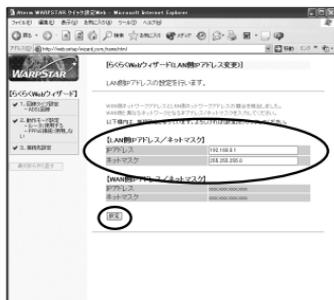
（例）ルータタイプの ADSL モデムの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合
IP アドレス　：192.168.0.210 など ADSL モデムと重ならないアドレス
ネットマスク ：255.255.255.0

※あとからクイック設定 Web のページを開くには、WWW ブラウザのアドレス欄に設定した IP アドレスを入力します。
例： http://192.168.0.210/
（http://web.setup/ やデスクトップの「クイック設定 Web」のアイコンからは開けなくなりますのでご注意ください。）

（次ページに続く）

8　入力が完了したら、[設定] をクリックする

9　[OK] をクリックする

次の画面が表示された場合は、LAN側とWAN側のIPアドレスが競合しています。LAN側IPアドレスの設定を行い、[設定] をクリックしてください。

(例) 192.168.2.1など下から2桁目を変更します。

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。「4-1　インターネットに接続する」(☛P4-2) に進みます。

■クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。
設定方法については、ホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

①パソコンなどを起動する

②WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例： http://192.168.0.1/
無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。（例： http://192.168.0.210/）
また、無線 LAN アクセスポイント（親機）にブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器を接続していないときはパソコンの IP アドレスを固定にする必要があります。
設定方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

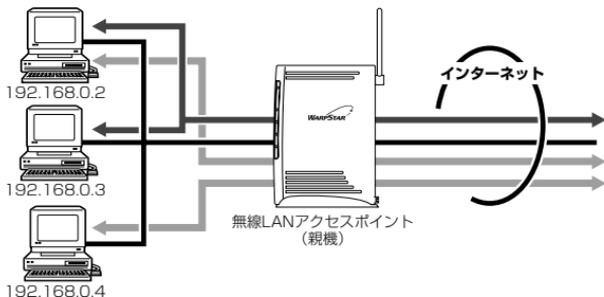
③ユーザー名とパスワードを入力する
ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには手順３（☛P3-5）で設定した管理者パスワードを入力してください。
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
※パスワード入力画面が表示されないときには（「WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない」☛P6-8）

④［OK］をクリックする

お願い

●クイック設定 Web の設定は、［登録］をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動してからでないと有効になりません。

3-3 複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）

PPPoE マルチセッションとは、1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。
接続先の登録数は最大５箇所、同時接続可能セッション数は最大３箇所です。
本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。

接続先は、「優先する接続先（優先接続）」１箇所とその他の接続先として４箇所までを設定できます。（例：一般的なフレッツ契約では 1 回線につき 2 セッションまで許容されています。）
また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。
LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。
「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。

 お知らせ

－制限事項－

●PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、 UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。
UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。
※本商品の初期状態では、［接続設定 1］が UPnP 機能の優先接続先になっています。

クイック設定 Web で設定する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先設定」で、それぞれの接続先を設定する

※ここで複数の接続先を登録しておくと、接続先を切り替えて利用できます。(複数接続先切替機能)

5 「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先の選択設定」で、「接続可」の接続先と「優先接続」する接続先を選択する

ここで選択した「接続可」の接続先で、PPPoE マルチセッションを行うことができます。

6 「詳細設定」の ▼ をクリックし、「静的ルーティング設定」を選択する

7 下記を参考にしてパケットの振り分けルールを設定する

〈静的ルーティングの設定例〉

[エントリ番号]

編集するエントリ番号を選択します。

[指定方法]

ルーティングエントリの指定方法を選択します。

宛先ドメイン名指定：宛先のドメイン名で指定します。
宛先 IP アドレス指定：宛先の IP アドレスで指定します。
送信元アドレス指定：送信元のアドレスで指定します。

3　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う

（次ページに続く）

[宛先ドメイン名]

ルーティング対象の宛先ドメイン名を指定します。

例：接続先の URL が、"http://www.aaa.bbb.co.jp"の場合

・宛先ドメイン名に「www.aaa.bbb.co.jp」を指定
→「www.aaa.bbb.co.jp」だけを見ることができます。

・宛先ドメイン名に「.bbb.co.jp」または「*.bbb.co.jp」を指定
→「.bbb.co.jp」に該当するところをすべて見ることができます。
（例： ZZZ.bbb.co.jp、XXX.bbb.co.jp、yyy.bbb.co.jp などの URL）
この場合は、「静的ルーティング設定」で設定した接続先で接続されます。
ただし、見ることができたホームページのリンク先でドメイン(IP アドレス)が変わった場合、そのドメイン名が設定されていなければ、正常なルーティングはできません。

[宛先 IP アドレス]

ルーティング対象の宛先 IP アドレスを指定します。

[ネットマスク]

ネットマスクを指定します。

[送信元アドレス]

ルーティング対象の送信元アドレスを指定します。
IP アドレス、または MAC アドレスが指定可能です。
ただし、MAC アドレスは、DHCP サーバ機能が有効時のみ適用されます。

[インタフェース]

「WAN 側」を選択します。

[ゲートウェイ]

ここでは指定しません。
インタフェースが［LAN 側］、［仮想 DMZ 側］のときゲートウェイを指定します。

[接続先]

接続先を選択します。

8 [編集]をクリックする

9 [最新状態に更新]をクリックする

10 [静的ルーティングエントリ]欄で設定したエントリ番号に☑する

11 [静的ルーティングエントリ]欄で［適用］をクリックする

12 [登録]をクリックする

お知らせ

●「静的ルーティングエントリ」は、下記に示すような順番で優先されます。

①指定方法が「送信元アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順

↓

②指定方法が「宛先ドメイン名指定」または「宛先 IP アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順

4 インターネットに接続する

4

4-1 インターネットに接続する

らくらくWebウィザードまたは、クイック設定Webで接続設定が完了したら、インターネットに接続できるか確認してみましょう。

1 WWWブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページAtermStation ： http://121ware.com/aterm/
クイック設定Webで［現在の状態］をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することができます。
〈PPPoEモードの場合〉
PPPoE接続機能を使用する（PPPoEモード）に設定した場合は、無線LANアクセスポイント（親機）前面のPPPランプが点灯します。

インターネットに接続できないときは（「6-1　トラブルシューティング」☛P6-2）

4-2 インターネットを切断する

無通信監視タイマ

インターネットへのアクセスが一定時間ないときに通信を切断し、セキュリティを守ります。切断忘れを防止できます。
ホームページを見たり、メールをやりとりする場合には、何らかのデータがやりとりされます。データのやりとりのない状態が一定時間以上続いた場合に、通信を自動的に切断します。ただし、「複数固定 IP サービス」や「常時接続モード」使用時には、設定できません。

〈クイック設定 Web で設定する〉

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

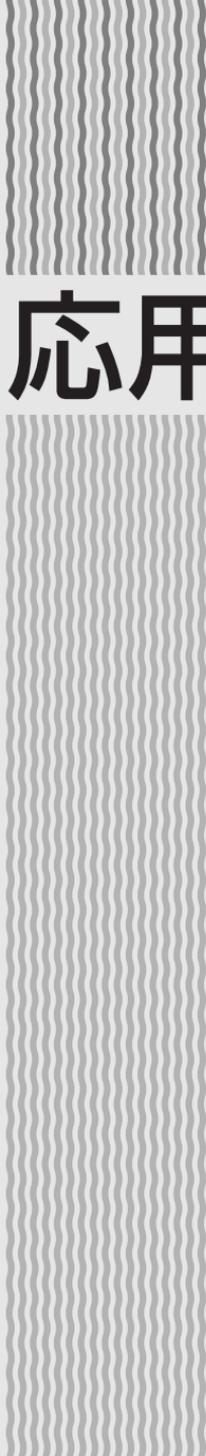
4 「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先設定」の「接続先の切断」で設定する

自動切断するまでの時間（60～86,400 秒（24 時間））を 1 秒間隔で設定します。その時間内にデータのやりとりがなければ、通信を切断します。

5 ［設定］をクリックする

6 ［登録］をクリックする

お知らせ

●インターネット側からの不正なアクセス（攻撃）などがあると無通信監視タイマはカウントをし直しますので、自動切断されないことがあります。そのような場合、できるだけ短い時間に設定してください。

応用編 本商品をさらに使いこなそう

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

5 WARPSTARを活用しよう

5-1 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL／CATV／FTTH網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線LAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
WAN回線側のセキュリティ対策については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

WAN側セキュリティ機能

- IPパケットフィルタリング
- IPマスカレード機能（アドバンスドNAT）
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポートコントロール機能

→ 機能詳細ガイド

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

- 暗号化※
- MACアドレスフィルタリング機能
- ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）

※WR6600H（親機）は、初期化するとWEP128bitの暗号化が設定されます。設定内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
  本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
  また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行っていただくことをお勧めします。
- 無線LAN端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
  無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できないようにする

本商品は、他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データの暗号化機能、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、MAC アドレスフィルタリング機能を搭載しています。無線 LAN 端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線 LAN 端末（子機）についてセキュリティの設定を行う必要があります。

無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

● **WEP（Wired Equivalent Privacy）**
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。

● **TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）**
Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

● **AES（Advanced Encryption Standard)**
米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で同じ設定にしてください。（☛P5-4、P5-11、P5-18、P5-37）
- 暗号化キーは無線アクセスポイント（親機）1 つにつき 1 つだけ使用します。複数の無線 LAN 端末（子機）を使用する場合、すべての無線 LAN 端末（子機）に無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを設定してください。
- WR6600H（親機）を初期化した場合は、WEP128bit（キーインデックス：1 番）に初期値が設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キー（WEP キー）の内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末（子機）が必要です。

＜暗号化の設定（無線LANアクセスポイント（親機））＞

無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化の設定は、クイック設定Webで行います。
無線LAN端末（子機）から、サテライトマネージャ／Ethernetボックスマネージャを使用して無線LANアクセスポイント（親機）の設定を同時に変更することができます。（☛P5-11、P5-30）
無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されている暗号化の設定がされています。

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「詳細設定」の ▼ をクリックし、[無線LAN側設定]を選択する

5 [暗号化]の項目で設定する

■暗号化モードでWEPを使用する場合

①[暗号化モード]で[WEP]を選択する
②暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。
③[指定方法]から暗号化キーの種類を[英数字]または[16進]のどちらかを選択する

※[英数字]→英数字（0～9、a～z、A～Z）の組み合わせで暗号を作成します。
[16進]→16進（0～9、a～f、A～F）の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

④[使用する暗号化キー番号]を1番～4番で選択する
⑤指定した番号（1番～4番）に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

※ 152bitWEPを使用する場合

無線LAN端末（子機）を使用するパソコンがWindows® XPの場合、サテライトマネージャで設定する必要があります。

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②［WPA 暗号化キー］を入力する

暗号化キーは、8～63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63 桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	*	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64 桁の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

③［暗号化更新時間］で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0（更新なし)、1～1440 分の間で設定できます。

6　**［設定］をクリックする**

7　**［登録］をクリックする**

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。（暗号化キーを設定していない無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなります。無線 LAN 端末（子機）の暗号化の設定を行ってください。）

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID とも呼びます）があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。
一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。WL54AG（無線 LAN カード）の設定ユーティリティは、サテライトマネージャをお使いください。

1　**パソコンを起動する**

（次ページに続く）

2　WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3　ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4　「詳細設定」の ▼ をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する

5　[ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）] を［使用する］に ☑ する

6　[設定] をクリックする

7　[登録] をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

<クイック設定 Web で設定する>

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **「詳細設定」の ▼ をクリックし、[MAC アドレスフィルタリング] を選択する**

5 **[接続を許可する MAC アドレス編集] 欄で設定する**

①エントリ番号を選択する
②指定方法を選択する
　手動設定：MAC アドレスに直接無線接続を許可する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力します。
　選択設定：MAC アドレス（アクセス履歴）から選択し登録をします。

③手動設定の場合は、登録する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力する
MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
例）MAC アドレスが xx-xx-xx-xx-xx-xx と入力する場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xx と入力します。
無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスは無線 LAN 端末（子機）の裏に記載されています。
選択設定の場合は、「接続履歴」または「接続拒否履歴」から登録する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを選択します。

（次ページに続く）

6 ［編集］をクリックする

続けて設定する場合は、手順５にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

7 ［最新状態に更新］をクリックする

設定内容にまちがいがないか確認してください。

8 「詳細設定」の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］で、［MAC アドレスフィルタリング機能］を［使用する］に ☑ する

9 ［OK］をクリックする

Microsoft Internet Explorer

<注意>接続を許可するMACアドレスが登録されていない場合、無線LAN端末(子機)からの接続ができなくなります。
接続を許可するMACアドレスは、[詳細設定]－[MACアドレスフィルタリング]から登録してください。

OK

10 ［設定］をクリックする

11 ［登録］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

！ WL54TE（ETHERNET ボックス）を使用している場合

無線 LAN アクセスポイント（親機）で MAC アドレスによる接続制限を行う場合（MAC アドレスフィルタリング）、通常は無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを登録することで無線接続する無線 LAN 端末（子機）を制限できます。ただし、WL54TE（ETHERNET ボックス）を無線 LAN 端末（子機）として接続するときは、WL54TE（ETHERNET ボックス）の MAC アドレスだけでなく、WL54TE（ETHERNET ボックス）に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスも登録してください。また、WL54TE（ETHERNET ボックス）に接続する端末が複数台ある場合は、すべての端末の MAC アドレスを登録してください。

→WL54TE（ETHERNET ボックス）では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。
このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WL54TE（ETHERNET ボックス）に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。
また、MAC アドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MAC アドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。
さらに、WL54TE（ETHERNET ボックス）の MAC アドレスを登録していない場合、WL54TE（ETHERNET ボックス）からすべての端末を外したときに AIR ランプが消灯します。

5-2 無線LAN端末（子機）の通信の設定をする

無線LAN端末（子機）の無線通信モードの変更、ネットワーク名（SSID）の変更、暗号の設定はサテライトマネージャで行います。
WL54TE（ETHERNETボックス）を設定する場合は、「5-3 WL54TE（ETHERNETボックス）を設定する」（☛P5-26）を参照してください。

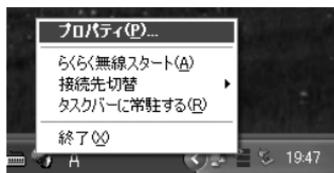
サテライトマネージャの使い方

■サテライトマネージャをインストールする

サテライトマネージャは、「つなぎかたガイド」を参照してインストールしてください。

■サテライトマネージャを起動する

1 ［スタート］ー［プログラム］ー［AtermWARPSTARユーティリティ］ー［サテライトマネージャ］をクリックする

2 通知領域（タスクトレイ）にある［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する

3 サテライトマネージャの設定画面が表示される

状態
接続中の無線通信の状態を表示します。

ネットワーク一覧
利用できる無線LANアクセスポイント（親機）の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

グラフ表示
接続中の無線通信の通信速度や、通信強度（信号強度）をグラフで表示します。

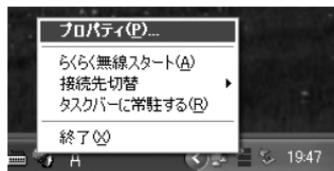
詳細設定
無線機能のON/OFF設定やサテライトマネージャから設定するか、Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。

■サテライトマネージャで設定する

1 **サテライトマネージャを起動する**

［スタート］－［プログラム］－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックする

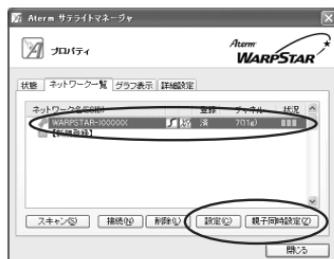
通知領域（タスクトレイ）に［サテライトマネージャ］が表示されます。

2 **通知領域（タスクトレイ）にある［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

3 **［ネットワーク一覧］タブをクリックする**

4 **接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、［設定］または［親子同時設定］をクリックする**

無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時設定のネットワーク名、暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

新しく接続先を登録する場合は、［新規登録］をクリックしてください。

※無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合は［親子同時設定］を、無線LAN端末（子機）のみ設定する場合は［設定］を選択します。

5 無線LANの設定を行う

■無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順４で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。

[ネットワーク名]

使用するネットワークの名称を入力します。手順４で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

[チャネル番号]

無線LANアクセスポイント（親機）と通信するチャネルを選択します。

[暗号化モード]

●暗号化モードでWEPを使用する場合

①［暗号化モード］で[WEP]を選択する

②暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する

英数字は0～9、a～z、A～Zで構成されている文字列を指定できます。16進は0～9、a～f、A～Fで構成されている文字列を指定できます。

●暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)]、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)]、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②無線LANアクセスポイント（親機）に設定した暗号化キーを入力する

暗号化キーは、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。

無線モードの選び方

802.11a ････電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。

802.11g ････802.11aよりも広い範囲で高速な通信を行うことができます。

802.11g+b ‥802.11bにしか対応していない無線LAN端末（子機）との混在環境での利用に適しています。

（次ページに続く）

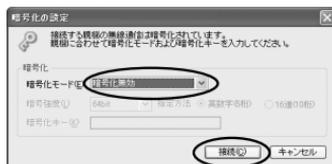
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63桁の場合
　英数記号
　【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	*	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64桁の場合
　16進数【0～9、a～f、A～F】

接続する無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、次の画面が表示されます。無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて暗号化の設定を行い、［接続］をクリックしてください。

■無線LAN端末（子機）のみ設定する場合

手順4で［設定］をクリックした場合は、使用する無線LANアクセスポイント（親機）に合わせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

［ネットワーク名］

無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名を入力します。手順4で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

［通信モード］

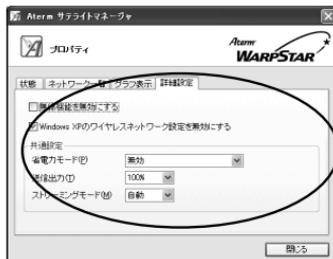
インフラストラクチャ通信を選択します。

［暗号化モード］

無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

6　［登録］をクリックする

お知らせ

●［詳細設定］タブをクリックすると、［詳細設定］で次の設定が行えます。

・**省電力モード**
ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

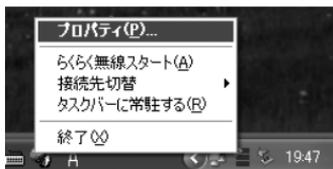
・**送信出力**
他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・**ストリーミングモード**
無線通信状態を監視するために無線LAN端末（子機）が行っている、無線LANネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

お願い

●同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線LANアクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。
●2台目以降の無線LAN端末（子機）を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。
●無線LANアクセスポイント（親機）で「WPA-TKIPモード」使用している場合、無線LAN端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIPモード」または「WPA-AESモード」のどちらの暗号化モードでも無線LANアクセスポイント（親機）に接続できます。

サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。詳細はホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

［プロパティ］：
通信モードの設定、暗号化、設定をすることができます。
［状態］タブで無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を詳細に確認することができます。
無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

［らくらく無線スタート］：
無線LANアクセスポイント（親機）とのネットワーク名や暗号化設定を簡単に行うことができます。
認定方法については、それぞれ次のとおり参照してください。

WL54AG（無線LANカード）の場合　：「つなぎかたガイド（TC）」
WL54TE（ETHERNETボックス）の場合：「5-3　WL54TE（ETHERNETボックス）を設定する」（☛P5-26）
WL54TU（無線USBスティック）の場合：「つなぎかたガイド（TU）」または無線LAN端末（子機）側に添付されている取扱説明書等

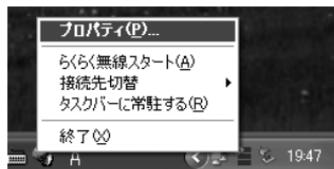
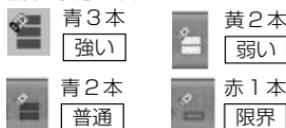
［接続先切替］：
サテライトマネージャで設定した接続先（無線LANアクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

［タスクバーに常駐する］：
［タスクバーに常駐する］にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

［終了］：
サテライトマネージャを終了します。

■無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態を確認することができます。

1 通知領域（タスクトレイ）にある［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する

2 ［状態］タブをクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態が表示されます。

（次ページに続く）

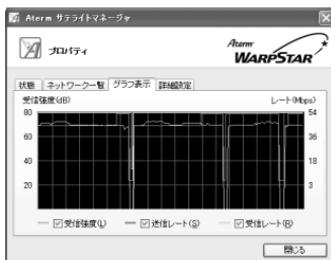
5 WARPSTARを活用しよう

3　**通信状態を確認し、［閉じる］をクリックする**

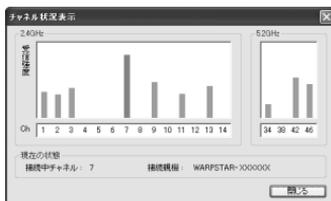
無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

■サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

【状態】－【チャネル状況】

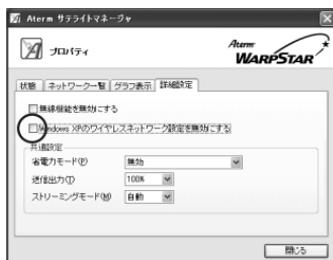
近くの無線 LAN アクセスポイント（親機）で使用しているチャネルや電波の強さを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャネルをチェックして切り替えることができます。

現在、接続中のチャネルは赤で表示されます。

ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XPの場合）

Windows® XPの場合は、Windows® XPに内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。
「ワイヤレスネットワークの設定」では、暗号化無効またはWEP（64bit、128bit）でご利用いただけます。WEP（152bit)、ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）は、ご利用になれません。（TKIP、AESはWindows® XP（Service Pack 2）搭載のパソコンの場合のみご利用になれます。）通常はWindows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

サテライトマネージャで設定を行った場合

Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定し、無線LAN端末（子機）を接続し直す必要があります。

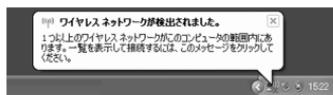
①サテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

⑤「はい」をクリックする
⑥「閉じる」をクリックする
⑦通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、［終了］をクリックする
⑧無線LAN端末（子機）を取り外し、接続し直す

●暗号化設定されている無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合（☛P5-18）

●暗号化設定されていない無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合（☛P5-23）

■暗号化を設定して無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき）

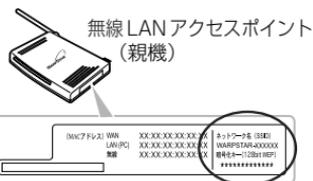
以下の設定はWindows® XPのワイヤレスネットワークを使用して64bitWEP/128bitWEPをご利用になる場合の説明です。
※暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

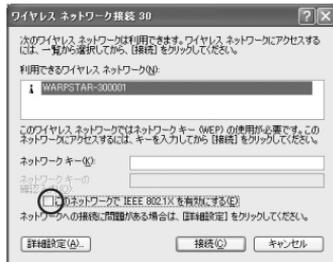
1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される

表示されないときは（☛P6-5）

2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名を選択する

・工場出荷時のネットワーク名は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。
Windows®のアップデート状況により画面が異なります。

・［利用できるネットワーク］に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除するか、無線LAN端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

●［このネットワークでIEEE802.1xを有効にする］の ☑は必ず外してください。

4 **Windows® XP （Service Pack 2）の場合は［接続］をクリックする**

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、そのまま手順５へ進みます。

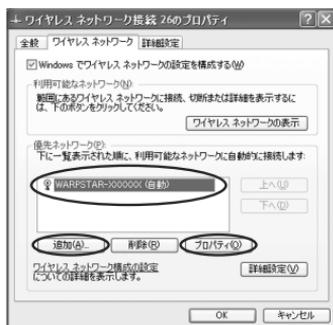
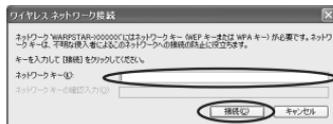
5 **無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が１番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする**

※キー番号に２番～４番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は［キャンセル］をクリックし、手順６に進みます。

6 **［詳細設定の変更］をクリックする**

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、［詳細設定］をクリックします。

7 **［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名をクリックして、［プロパティ］をクリックする**

接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名が［優先ネットワーク］（Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は［優先するネットワーク］）欄に表示されていない場合は、［追加］をクリックします。

（次ページに続く）

8 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。(☛P5-18)

■Windows® XP（Service Pack 2）の場合

〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定（13文字は無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合のみ）
・16進数の場合：0～9・A～Fで10文字、または26文字で指定（26文字は無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合のみ）
⑤無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する
⑥[OK]をクリックする

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する
③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・８～63桁の場合
英数記号
【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	*	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64桁の場合
16進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

④[OK]をクリックする

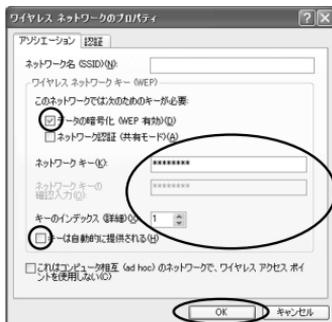
■ Windows® XP（Service Pack 1）の場合

①[データの暗号化]にチェックする
（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています］・［WEP］を選択する）

②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定（13文字は無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合のみ）
・16進数の場合：0～9・A～Fで10文字、または26文字で指定（26文字は無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合のみ）

④無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する

⑤[OK]をクリックする

※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

（次ページに続く）

■Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合

①[データの暗号化］にチェックする

②[キーは自動的に提供される］のチェックを外す

③[ネットワークキー］は、無線LANアクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：

無線LANアクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。

無線LANアクセスポイント（親機）で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：

無線LANアクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bitを選択してください。

無線LANアクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bitを選択してください。

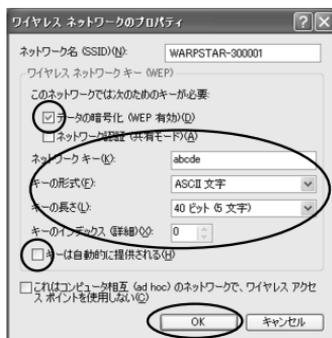
キーのインデックス：

特に使いません。

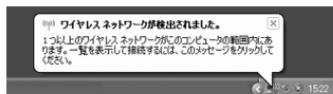
0～3がありますが、0のままご使用ください。

（1～3に別の暗号化キーを登録しておき、［キーのインデックス］を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。）

※無線LANアクセスポイント（親機）側は、クイック設定Webの［無線LAN側設定］－［暗号化（WEP)］で使用する暗号化キーを確認してください。

④[OK］をクリックする

■無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

1 **パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される**

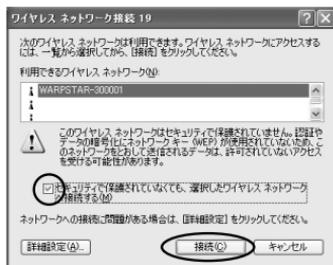
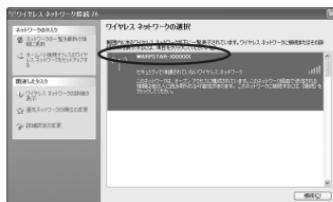
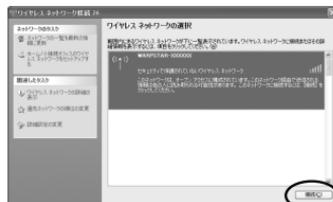
表示されないときは（☛P6-5）

※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

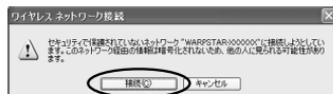
2 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 **接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**

・工場出荷時のネットワーク名は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☛P5-18）
・［利用できるネットワーク］に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除するか、無線LAN端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。
●次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。

（次ページに続く）

4 ［接続］をクリックする

5 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする

6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

■無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

Windows® XPの場合は次の手順で通信状態を確認できます。

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 ［状態］をクリックし、［全般］タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

・［状態］は「接続」になっていること
・［速度］が表示されていること
（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。Super AG機能を利用している場合は、108Mbpsと表示されます。）

※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

4 ［閉じる］をクリックする

5-3 WL54TE（ETHERNETボックス）を設定する

ここではらくらく無線スタートや、WWW ブラウザ（クイック設定 Web）などでWL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を行う場合を説明します。

らくらく無線スタートで設定する（☛ 下記）
Ethernet ボックスマネージャで設定する（☛P5-30）
WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定する（☛P5-34）

ゲーム機から設定する場合は、P5-43 を参照してください。
※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

ワイヤレスセット（TE）の場合

ご購入時点で無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54TE（ETHERNET ボックス）の無線設定が設定済みになっています。WL54TE（ETHERNET ボックス）の無線設定は必要ありません。

らくらく無線スタートで設定する

ここでは WL54TE（ETHERNET ボックス）と無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定をらくらく無線スタートで設定する場合を説明しています。

■らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化設定がされていない場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません。

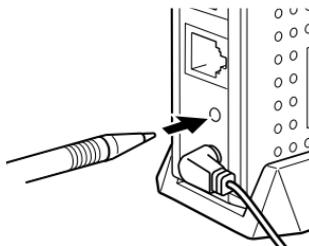
●WL54TE（ETHERNET ボックス）を設定する場合は、必ず WL54TE（ETHERNET ボックス）を初期化した状態で設定してください。パスワードや他の暗号化モードが設定されている場合は、らくらく無線スタートで設定できない場合があります。

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「MAC アドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線 LAN 端末（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタートでの無線設定登録のときに、MAC アドレスフィルタリングにも新たに登録されます。
ただし、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートは失敗になります。
WL54TE（ETHERNET ボックス）を「らくらく無線スタート」で登録する場合で、かつ MAC アドレスフィルタリングを有効にしている場合は、事前に WL54TE（ETHERNET ボックス）に接続するすべてのパソコンやゲーム機などの MAC アドレスを登録しておく必要があります。

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。

1 **WL54TE（ETHERNET ボックス）の電源が入っていることを確認する**

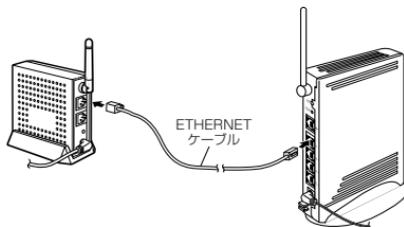
2 **WL54TE（ETHERNET ボックス）の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで５秒間押す**

リセットスイッチを押している間、AIR ランプが薄い橙に点灯します。

3 **リセットスイッチからボールペンなどを離す**

4 **WL54TE（ETHERNET ボックス）の AIR ランプが消灯していることを確認する**

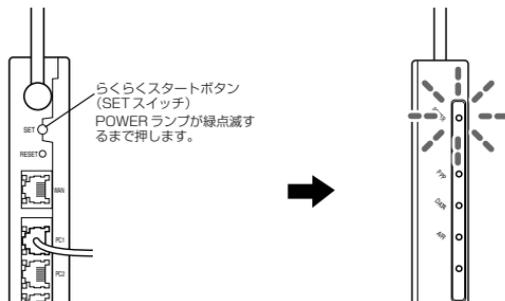
5 **ETHERNET ケーブルで WL54TE（ETHERNET ボックス）の ETHERNET ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートを接続する**

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートには設定する WL54TE（ETHERNET ボックス）以外接続しないでください。

！

接続後、１分間待ってから手順６へ進んでください。WL54TE（ETHERNET ボックス）が無線 LAN アクセスポイント（親機）から IP アドレスを取得します。

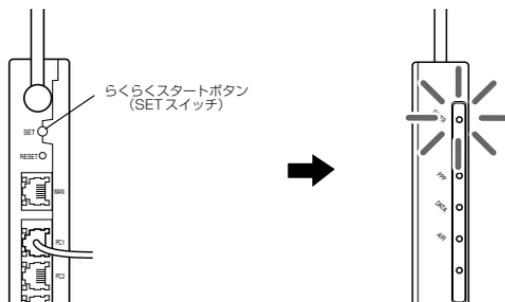
（次ページに続く）

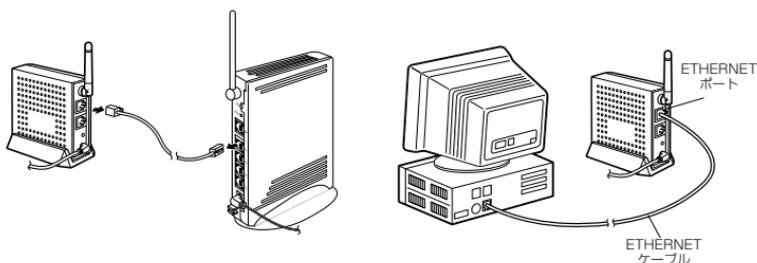
6 無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す

（一瞬緑点滅したあと、すぐに手順７の緑と橙の交互点滅に変わることがあります。）

7 無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプが緑と橙の交互点滅を始めるまで待つ

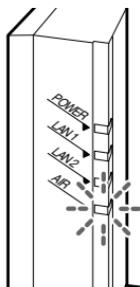
緑と橙の交互点滅をします。もし、橙のみ点滅の場合、他の無線カード（WL54AG）と接続されている可能性があります。
この場合は、すぐに無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切り、手順２からやり直してください。

8 もう一度無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、POWER ランプが橙点灯状態になったら離す

POWER ランプが、橙点灯（約 10 秒）すれば設定完了です。
もし、赤点灯した場合は、設定に失敗しています。手順２からやり直してください。

※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

9 WL54TE（ETHERNET ボックス）と無線 LAN アクセスポイント（親機）の接続を取り外し、使用するパソコンやゲーム機に接続する

10 WL54TE（ETHERNET ボックス）の AIR ランプが緑または橙点滅することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると AIR ランプが緑または橙点滅します。

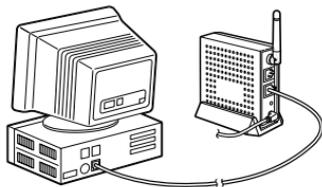
・ 11g/11b モード　……緑点滅
・ 11a モード　……………橙点滅

11 無線 LAN アクセスポイント（親機）の接続をもとに戻す（ブロードバンドモデム等を正しく接続してください）

WL54TE（ETHERNET ボックス）に接続したパソコンやゲーム機からインターネットへアクセスしてみましょう。

Ethernet ボックスマネージャで設定する

ここでは Ethernet ボックスマネージャを使った WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定方法を説明しています。

■ WL54TE（ETHERNET ボックス）とパソコンを接続する

1　ETHERNET ケーブルで WL54TE（ETHERNET ボックス）の ETHERNET ポートとパソコンやゲーム機の ETHERNET ポートを接続する

2　パソコンの IP アドレスを固定に設定する

「パソコンのネットワークの確認」（☛P1-18）を参照して次のように設定してください。

IP アドレス：192.168.0.XXX
（XXX は 2 ～ 199、211 ～ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス）
サブネットマスク：255.255.255.0

3　無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切る

無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源はいったん切っておきます。

■Ethernet ボックスマネージャをインストールする

Ethernet ボックスマネージャは、「つなぎかたガイド」を参照してインストールしてください。Ethernet ボックスマネージャのみをインストールする場合は、「つなぎかたガイド（TC)」の「5 サテライトマネージャをインストールする」の手順７の画面で［Ethernet ボックス］を選択します。

■Ethernet ボックスマネージャで設定する

ここでは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて WL54TE（ETHERNET ボックス）を設定する場合を説明しています。無線 LAN アクセスポイント（親機）も同時に設定する場合は「Ⓦ 機能詳細ガイド」を参照してください。

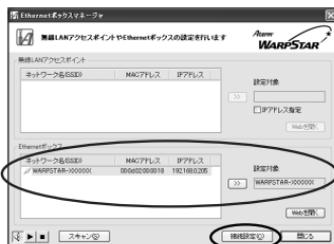
1 ［スタート］－［プログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［Ethernet ボックスマネージャ］をクリックする

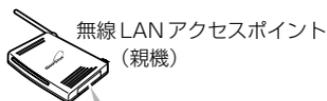
デスクトップの［Ethernet ボックスマネージャ］アイコンをダブルクリックしても起動できます。

2 ［設定対象］を確認し、［接続設定］をクリックする

［ETHERNET ボックス］の接続対象が WL54TE（ETHERNET ボックス）になっていることを確認してください。（MAC アドレスと IP アドレスを確認してください。）MAC アドレスは、WL54TE（ETHERNET ボックス）の側面に記載されています。

（次ページに続く）

5 活用しよう WARPSTARを

3 ［ネットワーク名］に接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時のネットワーク名（SSID）は無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

4 無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて暗号化を設定する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時の暗号化設定は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する

②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択する
「64bit」(弱)<「128bit」<「152bit」(強)の順で強い暗号がかかります。

③［指定方法］で［英数字］または［16 進］を選択する

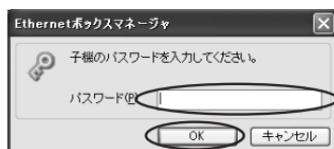
④［使用キー番号］を［WEP キー 1 番〜 WEP キー 4 番］から選択する

⑤④で指定したキー番号に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

■暗号化モードで ［WPA-PSK（TKIP)］、または ［WPA-PSK（AES)］ を使用する場合
① ［暗号化モード］ で ［WPA-PSK（TKIP)］、または ［WPA-PSK（AES)］ を選択する
②WPA 暗号化キーを入力する
　WPA 暗号化キーは、8～63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。
※無線 LAN アクセスポイント（親機）は工場出荷時には暗号化の設定がされています。
　無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されている暗号化設定を参照して設定を行ってください。（手順 3 の図参照）

5 ［子機のみ設定］をクリックする

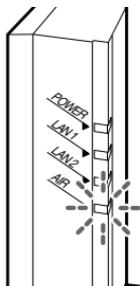
6 右記の画面が表示されたら WL54TE（ETHERNET ボックス）のパスワードを入力し、［OK］ をクリックする

初期値の場合、空欄のまま ［OK］ をクリックします。

7 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れる

8 WL54TE（ETHERNET ボックス）の AIR ランプが緑または橙点滅することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると AIR ランプが緑または橙点滅します。

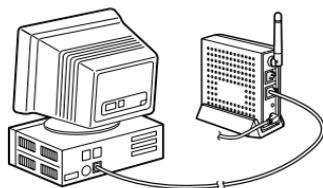
- 11g/11b モード　……緑点滅
- 11a モード　……………橙点滅

重要

WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

WWW ブラウザで設定する

ここでは、WL54TE（ETHERNET ボックス）のクイック設定 Web で WL54TE（ETHERNET ボックス）のみの設定を行う場合の設定方法を説明しています。

■ WL54TE（ETHERNET ボックス）とパソコンを接続する

1　ETHERNET ケーブルで WL54TE（ETHERNET ボックス）の ETHERNET ポートとパソコンやゲーム機の ETHERNET ポートを接続する

2　パソコンの IP アドレスを固定に設定する

「パソコンのネットワークの確認」（☛P1-18）を参照して次のように設定してください。

IP アドレス： 192.168.0.XXX
（XXX は 2 ～ 199、211 ～ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス）
サブネットマスク： 255.255.255.0

3　無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源プラグを抜く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源はいったん切っておきます。

■ WWW ブラウザで設定する

WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信ができるようにするための設定を行います。

1　パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、WL54TE（ETHERNET ボックス）の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.205 です）

例：http://192.168.0.205/

WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☛P6-17）

※ WL54TE（ETHERNET ボックス）の装置 IP アドレスの設定方法が［DHCP サーバより自動取得］になっている場合、IP アドレスが自動的に変更されている場合があります。このような場合は、Ethernet ボックスマネージャを起動すると現在の IP アドレスの確認ができます。（☛P5-31 手順 2）

3 ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま［OK］をクリックする

（「admin」は、半角小文字で入力してください。）

パスワードはあとで登録、変更できます。パスワードはセキュリティのため必ず設定してください。（☛P5-41）

4 ［無線 LAN 設定］をクリックする

5 通信モードで［インフラストラクチャ］を選択する

（次ページに続く）

6　[接続ネットワーク名] に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力する

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名を確認しておいてください。

※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名の初期値は無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

※ Aterm WR6600H ワイヤレスセット（TE）の場合、WL54TE（ETHERNET ボックス）の工場出荷時のネットワーク名は、無線 LAN 設定ラベル（WR6600H（親機）底面に貼付のラベル）に設定済みになっています。
ただし、WL54TE（ETHERNET ボックス）を初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-xxxxxx（xxxxxx は MAC アドレスの下６桁）］になりますので、らくらく無線スタート（☛P5-26）で再設定するか、接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを WL54TE（ETHERNET ボックス）に設定してください。

※［アクセスポイント検索］をクリックして選択することもできます。

7　[設定] をクリックする

8　[OK] をクリックする

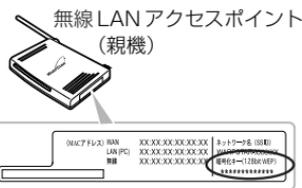
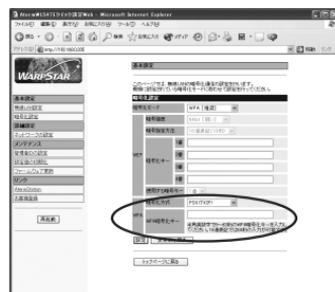
9　［暗号化設定］をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定に合わせて暗号化の設定を行う

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］［WEP］を選択する
②［暗号強度］を「64bit［弱い］」「128bit［普通］」「152bit［強い］」から選択する
③［暗号指定方法］で暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進表記］を選択する
※［英数字］→英数字（0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z）の組み合わせで暗号を作成します。
［16 進表記］→ 16 進表記（0 〜 9、a 〜 f、A 〜 F）の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
④［使用する暗号化キー］を［1 番〜 4 番］から選択する
⑤［暗号化キー］は④で指定した番号に③で指定した方法で任意の暗号を入力する
※Aterm WR6600H ワイヤレスセット（ＴＥ）の場合は、ＷＬ５４ＴＥ（ETHERNET ボックス）の暗号化設定は、WR6600H（親機）の無線 LAN 設定ラベル（WR6600H（親機）底面ラベル）に設定済みになっています。
ただし、初期化した場合は設定がクリアされますので接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせて暗号化キーに設定し直してください。

暗号化キーの入力例：
［128bit］の場合（英数字／13桁）
0123456789ABC

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA［推奨]］を選択する
②［暗号化方式］で［PSK（TKIP)］または［PSK（AES）［推奨]］を選択する
③［WPA 暗号化キー］を入力する
WPA 暗号化キーは、8 〜 63 桁の英数字、または、64 桁の 16 進表記で入力します。

10　［設定］をクリックする

（次ページに続く）

11 ［OK］をクリックする

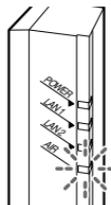
12 ［再起動］をクリックする

13 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れる

14 WL54TE（ETHERNET ボックス）が再起動して、AIR ランプが緑または橙点滅することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると AIR ランプが緑または橙点滅します。

・ 11g/11b モード ……緑点滅
・ 11a モード ……………橙点滅

重要

WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

お知らせ

●Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合、WWW ブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合にはキャッシュの設定を行ってください。（キャッシュの設定 ☛P5-39）

WWW ブラウザでの設定変更について

■起動のしかた

クイック設定 Web で設定を変更する場合は、次の方法で起動します。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切り、WL54TE（ETHERNET ボックス）の電源を入れ直す

2 パソコンなどを起動する

3 WWW ブラウザを起動し、WL54TE（ETHERNET ボックス）の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.205 です）

例：http://192.168.0.205/

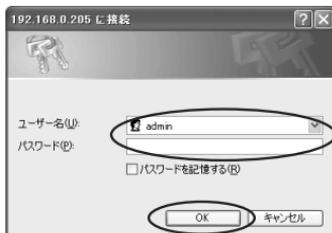
WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☛P6-17）

※ WL54TE（ETHERNET ボックス）の装置 IP アドレスの設定方法が［DHCP サーバより自動取得］になっている場合、IP アドレスが自動的に変更されている場合があります。このような場合は、Ethernet ボックスマネージャを起動すると現在の IP アドレスの確認ができます。（☛P5-31 手順 2）

4 ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま［OK］をクリックする

（「admin」は、半角小文字で入力してください。）

また、パスワードは、あとで登録、変更できます。パスワードはセキュリティのため必ず設定してください。（☛P5-41）

クイック設定 Web が表示されます。

お知らせ

●Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合、WWW ブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合には、以下の手順でキャッシュの設定を行ってください。

① Internet Explorer を起動し、メニューバーの［Explorer］－［環境設定］をクリックします。

②［Web ブラウザ］の［詳細設定］をクリックします。

③［キャッシュ］－［ページの更新］を［常に］にチェックします。

④［OK］をクリックします。

■設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定を行ってください。

設定の登録のしかた

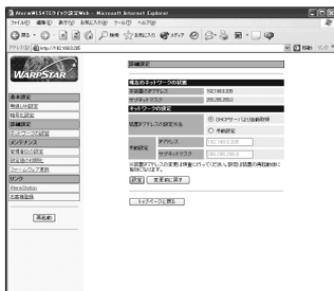
それぞれのページで［設定］をクリックしたあと、［再起動］をクリックして、WL54TE（ETHERNET ボックス）を再起動することにより設定内容を WL54TE（ETHERNET ボックス）に書き込みます。

【基本設定】

＜無線 LAN 設定＞
接続ネットワーク名（SSID）や、通信モードを設定します。
詳細については、P5-35、P5-36 を参照してください。

＜暗号化設定＞
暗号化の設定をします。
詳細については、P5-37 を参照してください。

【詳細設定】

＜ネットワークの設定＞

現在のネットワークの状態　：WL54TE（ETHERNET ボックス）の現在の「IP アドレス」「サブネットマスク」を表示しています。

ネットワークの設定
装置 IP アドレスの設定方法　：WL54TE（ETHERNET ボックス）の IP アドレスを選択します。（初期値：自動取得）
無線 LAN アクセスポイント（親機）などの DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを使用する場合には「自動取得」を、手動で設定する場合は「手動設定」を選択します。
手動設定　：IP アドレス、サブネットマスクを手動で設定する場合に入力します。

【メンテナンス】

＜管理者 ID の設定＞

管理者 ID　：管理者名（ユーザー名）を変更できます。（初期値： admin）

パスワード　：管理者パスワード（パスワード）を設定できます。
（初期値：空欄）
使用できる文字は英数半角文字と半角記号で最大 15 文字まで設定できます。

＜設定値の初期化＞

装置の初期化　：［装置の初期化］をクリックすると WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定が初期値に戻ります。

<ファームウェア更新>
次の手順で、WL54TE（ETHERNET ボックス）のバージョンアップができます。

1 **最新のファームウェアをホームページ AtermStation からダウンロードする**

ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。

2 **［参照］をクリックする**

3 **ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する**

4 **［更新］をクリックする**

5 **［OK］をクリックする**

6 **［OK］をクリックする**

7 **［再起動］をクリックする**

【リンク】

ホームページ AtermStation、お客様登録のページにリンクしています。
AtermStation では商品情報、資料請求、バージョンアップ、サポート情報など、Aterm について役立つ情報を掲載しています。
※お使いのモデムやルータ、およびパソコンの設定環境によってはリンク先に接続できない場合があります。

ゲーム機 PlayStation® 2 用「PlayStation® BB Navigator」で WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を行う場合について

WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定は、「つなぎかたガイド」を参照してらくらく無線スタートで設定することをお勧めします。以下の方法で、ゲーム機(PlayStation® 2)「PlayStation® BB Navigator」から設定を行うことができます。なお、WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を行う前に、無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN 使用チャネルや暗号化設定などの設定を完了させておいてください。(無線 LAN アクセスポイントの設定については、その製品の取扱説明書をご確認ください。)

WR6600H ワイヤレスセット（TE）をお買い求めの場合

WR6600H ワイヤレスセット（TE）では無線 LAN の設定は設定済で出荷しておりますので、通常 WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を変更する必要はありません。設定を変更される場合は、以下の手順に従ってください。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切り、WL54TE（ETHERNET ボックス）の電源を入れ直す

2 設定環境を確認する

WL54TE（ETHERNET ボックス）に接続して設定を行う機器には以下の条件が必要です。

・ETHERNET ポートが装備されていること
・TCP/IP による通信環境が装備されていること
・TCP/IP のネットワーク設定で、固定 IP アドレスの設定が可能であること
・WL54TE（ETHERNET ボックス）のクイック設定 Web を開くことができる WWW ブラウザ機能（“PlayStation® 2” 用の「PlayStation® BB Navigator」）が用意されていること
・WWWブラウザソフトの画面を表示できる出力（テレビ出力など）が装備されていること

3 WL54TE（ETHERNET ボックス）とゲーム機を接続する

WL54TE（ETHERNET ボックス）の ETHERNET ポートと、接続機器の ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで直接接続します。

・WL54TE（ETHERNET ボックス）と接続機器の間にハブなどを接続しないでください。
・設定が完了するまでもうひとつの ETHERNET ポートには他の機器を接続しないでください。

（次ページに続く）

4

接続機器のネットワーク設定

設定を行う機器のネットワーク設定画面を開き、以下のとおり設定を行ってください。
機器の IP アドレス： 192.168.0.100
サブネットマスク： 255.255.255.0
※ DHCP から自動的に IP アドレスを取得せず、手動設定としてください。
※デフォルトゲートウェイ、DNS サーバなど、それ以外の設定は空欄のままにします。

5

WL54TE（ETHERNET ボックス）のクイック設定 Web を開く

・次のアドレスを入力します。
http://192.168.0.205/nonpc_menu.html

クイック設定 Web を開けない場合は...
（WR6600H ワイヤレスセット（TE）をご使用の場合も該当します）

「サーバが見つかりません」等のエラーメッセージが出て設定画面を開けない場合は、WL54TE（ETHERNET ボックス）が無線 LAN 通信などにより、DHCP サーバの存在するネットワークに接続されていて、WL54TE（ETHERNET ボックス）の IP アドレスが書き換わってしまっている可能性があります。
この場合は、ネットワーク内の DHCP サーバ（無線 LAN アクセスポイントやルータ、ADSL モデムなど）の電源を切り、WL54TE（ETHERNET ボックス）を再起動したうえで、上記操作を行ってください。
DHCP サーバが存在しない状態で、WL54TE（ETHERNET ボックス）を再起動すれば、WL54TE（ETHERNET ボックス）の IP アドレスは、工場出荷時の設定（192.168.0.205）に戻ります。

6

必要な設定を行う

P5-35 を参照して、必要な無線 LAN の設定を行ってください。

ご注意
（WR6600H ワイヤレスセット（TE）をご使用の場合も該当します）

もし、Web 設定画面を開く際に、無線 LAN アクセスポイントの電源を切っていた場合は、Web 設定画面が開けることを確認した後に、無線 LAN アクセスポイントの電源を入れ直してください。
また、その後は、必要なすべての設定が完了するまで、WL54TE（ETHERNET ボックス）の再起動は行わないようにご注意願います。設定途中で再起動を行うと、再度無線 LAN アクセスポイントから IP アドレスを取得してしまい、設定画面に戻ってくることができなくなる可能性があります。

7 WL54TE（ETHERNET ボックス）の電源を入れ直す

すべての設定が終わったら、WL54TE（ETHERNET ボックス）の電源を入れ直します。

8 無線 LAN の通信を確認する

WL54TE（ETHERNET ボックス）の AIR ランプが点滅することを確認します。

インターネットへの接続や、オンラインゲームの動作チェックなどにより、通信が正しく行われていることをご確認ください。無線 LAN アクセスポイント側のインターネット接続が正しく行われている必要があります。

もし正しく通信が行えない場合は、無線 LAN アクセスポイントの設定画面などに接続できるかどうかを、接続機器のWWWブラウザソフトを用いて確認してみてください。

WR6600H ワイヤレスセット（TE）をご利用の場合は、WR6600H（親機）のクイック設定 Web（http://web.setup/）を開くことにより、無線 LAN の通信確認が行えるとともに、合わせて WR6600H（親機）のインターネット接続設定を行うことが可能です。
（「3 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」☛P3-1）

重要

WL54TE（ETHERNET ボックス）の設定を終了したあとは、ゲーム機の IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

5-4 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する場合、ネットワークゲームによっては設定が必要な場合があります。あらかじめゲームのWebサイトなどでご確認ください。設定方法には次の方法があります。

1.アドバンスドNAT（ポートマッピング）を使う
2.PPPoEブリッジを使う
3.シングルユーザアクセスモードを使う

アドバンスドNAT（ポートマッピング）を設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。
該当ゲームは該当のパソコン1台でのみ利用できます。

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）

3 ユーザー名に［admin］と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「詳細設定」の ▼ をクリックし、［ポートマッピング設定］を選択する

5 「編集する接続先」の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する

6 ［NAT エントリ編集］欄で設定する

①［エントリ番号］で空いている番号を選択する
最大 50 個設定できます。
②［変換対象プロトコル］で「TCP/UDP/ESP/AH」から選択する
③［変換対象ポート］でポート番号を指定する
④［宛先アドレス］に上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレス、または MAC アドレスを入力する
※ただし、MAC アドレス指定は、DHCP サーバ機能が有効になっているときのみ適用されます。

7 ［編集］をクリックする

8 ［最新状態に更新］をクリックする

9 ［NAT エントリ］欄で設定したエントリ番号を☑にする

10 ［NAT エントリ］欄で［適用］をクリックする

11 ［登録］をクリックする

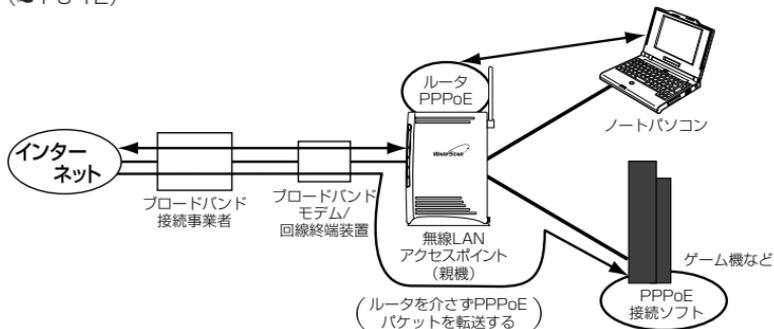
無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

お願い

●ポート、プロトコルについてはアプリケーションの提供元に確認してください。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 8 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。（☛P3-12）

■ PPPoE ブリッジ機能でできること

（1）Windows® XP でサポートされている次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

リモートデスクトップ
リモートアシスタンス

（2）PPPoE 対応のゲーム機（PlayStation®2 など）を接続できます。

（3）PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続しているブロードバンドモデム/回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

お願い

● アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。
● 「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフト等をお使いになることをお勧めします。

シングルユーザアクセスモード

シングルユーザアクセスモードとは、一時的に全ポートを独占利用することで、チャットやゲームなどのネットワークアプリケーションを利用する際簡単に利用を可能とするモードです。シングルユーザアクセスモードに設定することで、具体的なTCP／UDPポートの設定をすることなく、また、他の人からの相乗りを禁止（排他利用）したい時などでも利用することができます。

※自動接続において、「常時接続」設定では、「シングルユーザアクセス」を利用することができません。必ず、「要求時接続」に変更してください。なお、「要求時接続」では、「通常動作」「シングルユーザアクセス」ともに利用が可能です。

※「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になり、セキュリティが低下します。

シングルユーザアクセスモードは、各メーカーから提供されているTCP／UDPポートの設定情報で動作しないゲームやアプリケーションがある場合のみ使用し、利用時以外は切断することをお勧めします。
（接続後、切断するには、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」で［全切断→接続拒否］をクリックします。）

! PPPoEブリッジとシングルユーザアクセスモードの違いと使い分け

PPPoEブリッジとシングルユーザアクセスモードには次のような違いがあります。特定のポート番号を固定できないアプリケーションを使う場合や、外部からの接続が必要なアプリケーションを使う場合は、お使いの環境に合わせて、PPPoEブリッジ機能または、シングルユーザアクセスモードをお使いください。

PPPoEモードでお使いの場合は、PPPoEブリッジをお勧めします。ローカルルータでお使いの場合は、シングルユーザアクセスモードをお勧めします。

	PPPoEブリッジ機能	シングルユーザアクセスモード
利用条件	PPPoEモードの場合のみ	PPPoEモード/ローカルルータモード
IPアドレス	グローバルIPアドレスを取得可	ローカルIPアドレスのみ
自分以外の利用	利用可（※）	利用不可
専用ソフト	必要	不要

※ご契約の接続事業者によって異なります。

■設定方法

＜クイック設定 Web ＞

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 インターネット接続先を設定する

「3 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」（☛P3-1）または、「つなぎかたガイド」を参照してください。

5 「基本設定」の ▼ をクリックし［基本設定］を選択し、［自動接続］欄の接続モードは「要求時接続」を選択する

6 ［設定］をクリックする

7 「詳細設定」の ▼ をクリックし［高度な設定］を選択し、「NAT モード」は「シングルユーザアクセス」を選択する

8 すでに「複数固定 IP サービス」を選択していた場合は、[複数固定 IP サービスを無効にした・・・] 画面が表示されるので、[OK] をクリックする

9　［設定］をクリックする

10　［登録］をクリックする

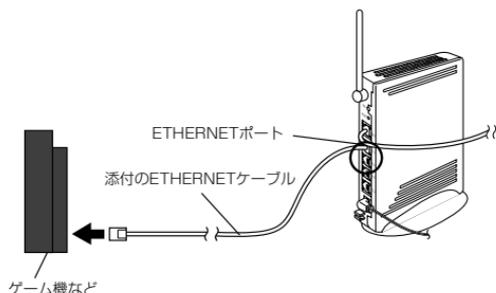
お知らせ

●シングルユーザアクセスモードに設定した場合、「DMZ ホスティング機能」、「複数固定 IP サービス」、「UPnP 機能」、「PPPoE マルチセッション」との併用はできません。

5-5 無線LANアクセスポイント（親機）にゲーム機を接続する

無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートにゲーム機を接続することができます。

1 無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートとゲーム機をETHERNETケーブルで接続する

ETHERNETポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 ETHERNETポート状態表示LEDが緑または赤点灯することを確認する

WARPSTARの設定

WARPSTARの設定は、WARPSTARに接続された別のパソコンから行うか、ゲーム機でWWWブラウザが使用できる場合には、クイック設定Webで設定します。

■クイック設定Webで設定する

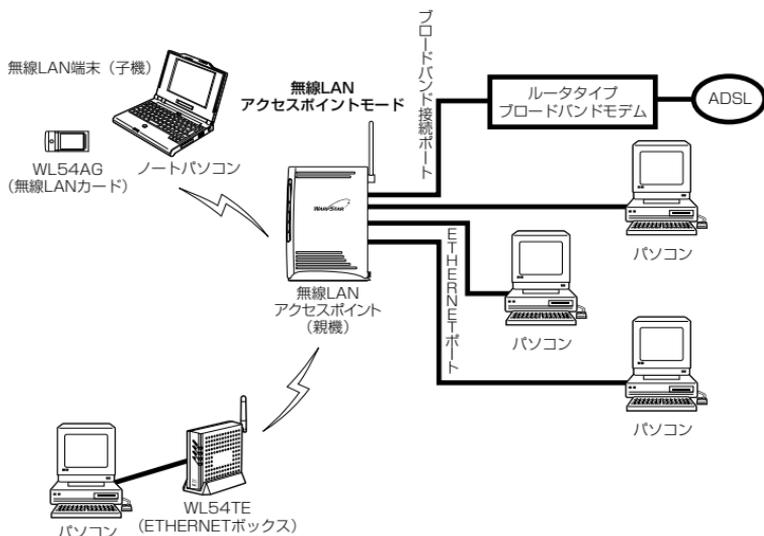
3章　クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う（☛P3-1）
※PlayStation® 2用「PlayStation® BB Navigator」で設定できるのは、「らくらくWebウィザード」のみです。

お知らせ

● WL54TE（ETHERNETボックス）を無線LAN端末（子機）として使用すると無線でゲーム機を接続することができます。その場合の設定方法については、「ゲーム機PlayStation® 2用「PlayStation® BB Navigator」でWL54TE（ETHERNETボックス）の設定を行う場合について」（☛P5-43）を参照してください。

5-6 無線LANアクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

本商品では、無線LANアクセスポイントモードを利用して、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのブロードバンドモデムや、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。
本モード設定によりルータ機能が停止し、ハブおよび無線LANアクセスポイントとして動作します。

お願い

●無線LANアクセスポイント（親機）を無線LANアクセスポイントモードに設定した場合サテライトマネージャやEthernetボックスマネージャでの親子同時設定を行うときには、設定した無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを指定する必要があります。
●http://web.setup/およびデスクトップの［クイック設定web］アイコンからクイック設定Webを開くことができなくなります。WWWブラウザに直接IPアドレス（例：http://192.168.0.210）を入力して開いてください。

お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用する無線LANアクセスポイントモードをご利用ください。
・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

無線LANアクセスポイントモード設定

無線LANアクセスポイントモードを設定するときは次の手順で行います。
設定は、らくらくWebウィザードで行います。

※らくらくWebウィザードは、無線LANアクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。無線LANアクセスポイント（親機）をすでにルータとしてお使いの場合は一度初期化してから設定を行ってください。（☛P6-26）
（初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。）

ブロードバンドモデムを接続している場合はいったん接続を外します。

無線LANアクセスポイントモードに設定する

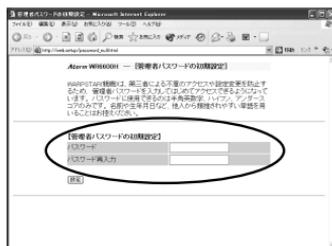
1　**パソコンを起動する**

2　**WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

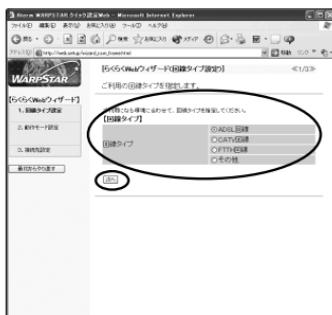
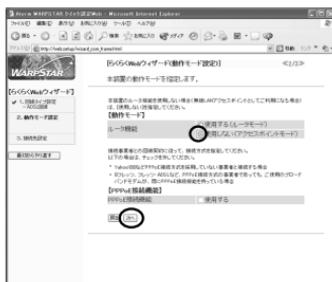
無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）

3　**管理者パスワードの初期設定を行う**

画面に従ってパスワードを設定してください。
一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

●管理者パスワードは、無線LANアクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワードメモ欄	

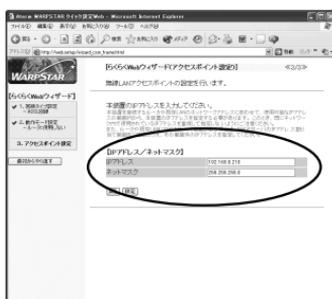
4　**［設定］をクリックする**

5 **利用している接続回線を選択し、［次へ］をクリックする**

6 **［動作モード］の［ルータ機能］で［使用しない（アクセスポイントモード)］を選択し、［次へ］をクリックする**

7 **［IPアドレス／ネットマスク］で接続するネットワークの環境に合わせて無線LANアクセスポイントのIPアドレス／ネットマスクを設定する**

（例）ルータタイプのADSLモデムのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合

IPアドレス：192.168.0.210など ADSLモデムと重ならないアドレス

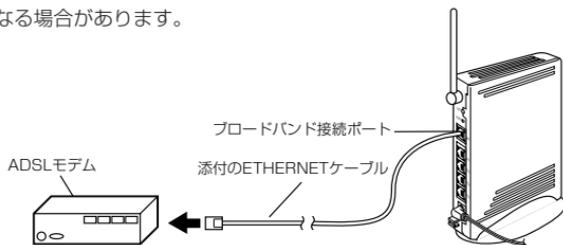
ネットマスク：255.255.255.0

8 **入力が完了したら、［設定］をクリックする**

（次ページに続く）

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

無線 LAN アクセスポイント（親機）とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 ADSL モデムの電源を入れる

3 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。

無線の設定を変更する場合は、クイック設定 Web の「詳細設定」－「無線 LAN 側設定」でネットワーク名、暗号化などを変更します。（☛P5-4）

あとからクイック設定 Web のページを開くには、WWW ブラウザのアドレスに手順 7（☛P5-55）で設定した IP アドレスを入力します。例）http://192.168.0.210/
（http://web.setup/やデスクトップの「クイック設定 Web」アイコンから開けなくなりますのでご注意ください。）
ブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器を接続していないときは、パソコンの IP アドレスを固定にする必要があります。設定方法は「WWW 機能詳細ガイド」の「機能一覧」－「無線 LAN アクセスポイントモード」を参照してください。

5-7 TV電話をする(Windows Messenger およびMSN Messengerの利用方法)

本商品とパソコンのUPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV電話をするなど、パソコンのWindows MessengerやMSN Messengerの次の機能をご利用になることができます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnPの設定をすることで、利用ができます。

○：使用できます。
－： Windows Messengerの機能としてありません。

機能名	Windows® XP-XP 間の通信	Windows® XP-Me 間の通信	Windows® Me-Me 間の通信
ファイル転送	○	利用不可（※2）	利用不可（※2）
音声チャット	○	○	○
ビデオチャット（※1）	○	－	－
アプリケーション共有（※1）	○	－	－
ホワイトボード（※1）	○	－	－
リモートアシスタンス（ファイル転送機能）（※1）	○	－	－
WebCam（※3）	○	○	○
背景の共有（※3）	○	○	○
表示アイコンの変更(※3)	○	○	○
ゲーム（※3）	○	○	○

※1　Windows® XPのみの機能です。
※2　Windows® XP以外のOSではUPnPに未対応であり、ご利用になれません。
※3　Windows® XP/Windows® Me共、MSN Messenger6.1/6.2を使用した場合のみ使用できます。

お知らせ

●UPnP機能は、Windows® XPまたはWindows® Meのパソコンでのみご利用になれます。
●フレッツ・ ADSLなどのPPPoEが使用できる環境では、PPPoEブリッジ機能を使用することで、1台のパソコンのみで利用ができます。
●ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続している時は、上記の機能はご利用になれません。ADSLモデムをPPPoEブリッジモードに切り替えて本商品をPPPoEモードに設定するか、本商品を無線LANアクセスポイントモードに設定してお使いください。

5-8 ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR6600H（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR6600H（親機）の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

AtermStationからダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

お願い

●ファームウェアのバージョンアップ中（約1分間）は絶対にWR6600H（親機）の電源を切らないでください。
●ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
●バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows® XPの場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ファームウェアをバージョンアップする

●ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、AtermStationに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定Webのトップ画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。
このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

（注）本機能は、常に本商品の電源がONになっており、かつインターネットに接続されている必要があります。
また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。

本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、AtermStation（ホームページ）をご覧ください。

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定Webからファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できる必要があります。

1 クイック設定Webを起動する

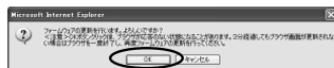
2 ユーザー名に［admin］と入力し、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする

3 「メンテナンス」の ▼ をクリックし、「ファームウェア更新」を選択する

4 ［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する

5 [更新]をクリックする

6 [OK]をクリックする

7 次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ

（次ページに続く）

8 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする

［現在のバージョン］と［最新のバージョン］が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定Webを閉じます。

9 しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される

●バージョンアップの途中で電源を切らないでください。

10 [OK]をクリックする

■ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページAtermStationから、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。
ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

1. AtermStation（http:// 121ware.com/aterm/）にアクセスする
2. ダウンロードのバージョンアップの項目からお使いの機種とOSを選択し、[GO] をクリックする
3. 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする
4. ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する
5. ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

   インストールが始まります。
   詳細は、各ユーティリティのセットアップのページやAtermStationの説明をお読みください。

5-9 他の無線LAN端末（子機）から接続する

無線LANアクセスポイント（親機）へ他の無線LAN端末（子機）から接続する場合は、次の手順で設定を行ってください。

Atermシリーズの無線LAN端末（子機）

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）の場合は、P5-64へ進んでください。
※についてはP5-65を参照してください。

WL54AG/WL54TE/WL54TU （※1）

設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。

「らくらく無線スタート」で設定してください。
WL54AGの場合「つなぎかたガイド(TC)」参照
WL54ATEの場合「5-3　WL54TE(ETHERNETボックス)を設定する」(☛P5-26）参照
WL54TUの場合「つなぎかたガイド(TU)」または、無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書等を参照
※らくらくWebウィザードでの設定は1台目のパソコンからの設定が無線LANアクセスポイント（親機）に書き込まれていますので設定の必要はありません。

無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

下記の無線LAN端末（子機）では、設定の際に現在無線LAN端末（子機）側で使用している設定ツール（サテライトマネージャ等）とドライバが必要です。アンインストール（削除）はしないでください。いったん削除してしまった場合は、ホームページAtermStationにて最新版をインストールすることができます。
WL11C2
WL54AC
WL11CA /WL11CB
WL11C/WL11U /WL11U(W)
WL11E2
無線LAN端末（子機）の設定にあわせて無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を行います。
無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）のMACアドレスを登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☛P5-7）（※2）（※3）
クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の無線動作モードの設定をIEEE802.11aモードに変更します。
クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を64bitWEPに変更します。
無線LAN端末(子機)を使用するパソコンのOSを確認します。（※4）
Windows® XP以外のOSの場合
Windows® XP
無線LAN端末（子機）側のCD-ROMからドライバとユーティリティ（サテライトマネージャ）を インストールし、無線LAN端末（子機）側のユーティリティ（サテライトマネージャ）で設定してください。(※6)
Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で設定してください。（※6）
無線LAN端末(子機)のクイック設定Webで設定してください。
無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名（SSID)、暗号化の設定を行ってください。
（※5）

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）

↓

無線LAN端末（子機）側に添付の専用ドライバとユーティリティをインストールしてください。

無線LAN内蔵パソコン

無線LAN端末（子機）の設定にあわせて無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を行います。

無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）の情報を登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☛P5-7）（※2）

無線LAN端末（子機）が、無線LANアクセスポイント（親機）と同じ無線動作モード、暗号化モードをサポートしていない場合は、クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の初期値
　無線動作モード：IEEE802.11bモード
　暗号化モード　：128bitWEP

↓

無線LAN端末（子機）を使用するパソコンのOSを確認します。

- Windows® XP (Service Pack 2)
- Windows® XP (Service Pack 2)以外のOSの場合

↓

設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。

- Windows® XP (Service Pack 2)の場合：無線LANアクセスポイント（親機）に添付のCD-ROMを使用してらくらく無線スタートEXで設定してください。
- Windows® XP (Service Pack 2)以外のOSの場合：Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定または、無線LAN端末(子機)側に添付の専用ユーティリティで設定してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名（SSID）、暗号化の設定を行ってください。（※5）

↓

無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

※１　WL54AG、WL54TE、WL54TU を追加で接続する場合は本商品に添付の CD-ROM を使用して設定してください。

※２　すでにインターネット接続が可能な場合、MAC アドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。

※３　WL54TE（ETHERNET ボックス）、WL11E2（ETHERNET ボックス）の場合は WL54TE（ETHERNET ボックス）、WL11E2（ETHERNET ボックス）に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスも登録してください。

※４　使用できる OS は接続する無線 LAN 端末（子機）によって異なります。

※５　無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に貼ってある無線 LAN 設定ラベルに記載されています。

※６　Windows® XP（Service Pack 2 以降）のパソコンでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の CD-ROM を使用して、らくらく無線スタート EX で設定することもできます。

お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できる無線 LAN 端末（子機）は「7-2　別売りオプション」（☛P7-9）やホームページ AtermStation（「動作検証情報」ー「無線 LAN 製品接続確認情報」）で確認してください。

5-10 無線LAN内蔵パソコンから接続する

無線LAN内蔵のパソコンから無線LANアクセスポイント（親機）に無線で接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できるNEC製ワイヤレス機器についてはホームページAtermStation（「動作検証情報」－「無線LAN製品接続確認情報」）にて公開しています。

・お使いになる無線LAN内蔵パソコンがWindows® XP（Service Pack 2以降）の場合、「らくらく無線スタートEX」で無線LANアクセスポイント（親機）との無線接続の設定を簡単に行うことができます。（☛ 下記）

・お使いになる無線LAN内蔵パソコンがWindows® XP（Service Pack 1以前）の場合は「無線LAN内蔵パソコンの設定」（☛P5-71）を参照してください。

お願い

●設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンやOSによって異なります。（Windows® XPの場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。）設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。

●パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより無線LANアクセスポイント（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。クイック設定Webで変更します。
 ・IEEE802.11g+IEEE802.11bモード（初期値）
 ・暗号化キー（128bit WEP）の出荷時の設定値は本体底面のラベルを参照してください。

●Super AG対応の無線LAN内蔵パソコンをご利用の場合はSuper AG機能を利用した高速な無線LAN通信がご利用になれます。対応機器についてはホームページAtermStationにてご確認ください。

らくらく無線スタートEXで設定する(Windows ® XP(Service Pack 2以降)の場合のみ)

「らくらく無線スタートEX」は、無線LAN内蔵パソコンまたは無線LAN端末（子機）でWindows® XP（Service Pack 2以降）のワイヤレスネットワーク設定を使って設定している場合にご使用になれます。

設定の際には、「(!) らくらく無線スタートEXで設定を行う場合のご注意（☛P5-68）」を参照してください。

＜「らくらく無線スタートEX」で設定できる無線LAN端末（子機）の例＞

・無線LAN内蔵パソコン（Windows® XP（Service Pack 2以降）搭載）

・Windows® XP(Service Pack 2以降)搭載のパソコンで、WL54AG/WL54TE/WL54TU以外のAterm無線LAN端末(子機)や他社製の無線LANカードをお使いの場合

らくらく無線スタートEXをインストールする

次の手順でらくらく無線スタートEXをインストールします。

1 **パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯するなどパソコンのワイヤレス機能が使用でき、Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定から無線設定ができる状態になっていることを確認する**

※ 無線設定を無線LAN内蔵パソコンや無線LAN端末(子機)の専用ユーティリティで行っている場合は、「らくらく無線スタートEX」で設定できません。専用ユーティリティの停止方法などそれぞれのパソコンのワイヤレス機能の使い方についてはご使用になっているパソコンや無線LAN端末(子機)の取扱説明書をご覧ください。

2 Windows® XP を起動する

Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

3 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

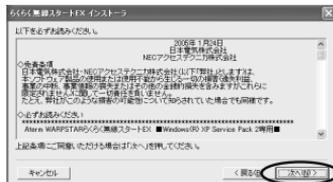
「メニュー画面」が表示されます。

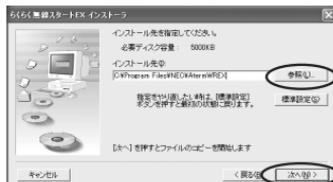
「メニュー画面」が表示されないときは（☛P 前文-17）

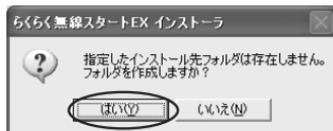
4 [Aterm 以外の子機（無線 LAN 内蔵パソコンなど）で「らくらく無線スタート EX」から接続設定する] の [CLICK] をクリックする

5 [次へ] をクリックする

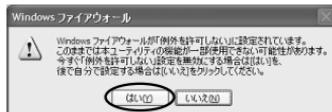
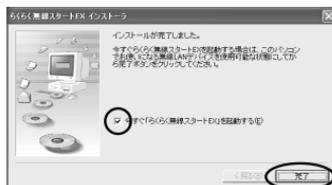
6 [次へ] をクリックする

7 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。

9 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

インストールが開始されます。

（次ページに続く）

10 **次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする**

11 **次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする**

12 **［今すぐ「らくらく無線スタートEX」を起動する］にチェックが入っている（）ことを確認し、［完了］をクリックする**

インストールが完了し、らくらく無線スタートEXが起動します。

〈らくらく無線スタートEXで設定を行う場合のご注意〉

・無線LANアクセスポイント（親機）のファームウェアは必ず最新のものをお使いください。古いバージョンでは動作しない場合があります。最新のファームウェアはホームページAtermStationで提供されます。

・利用条件

【パソコンのOS】

Windows® XP（Service Pack 2以降）であること（Windows® XP（Service Pack 1以前）/2000Professional/Me/98SE/98では動作しません。）

【無線LAN端末（子機）または無線LAN内蔵パソコンの無線LANアダプタ】

・Windows® XP（Service Pack 2）のワイヤレスネットワーク設定を使って設定および制御されていること

・専用のユーティリティは終了していること（利用不可状態でも通知領域（タスクトレイ）に常駐していると正しく動作しない場合があります。）

・接続する無線LANアクセスポイント（親機）に設定されている無線動作モードおよび暗号化モードに対応していること

・使用する無線LANアダプタ以外のネットワークアダプタが無効になっていること

上記条件を満たしていてもパソコンの環境や使用するアダプタとの相性的な問題により正しく動作しない場合もあります。

・動作検証済みの機器については、ホームページAtermStationにて順次公開予定です。動作検証済みの無線LANアクセスポイント（親機）以外に接続する場合は「らくらく無線スタートEX」による自動設定はできません。

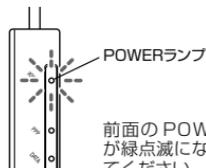
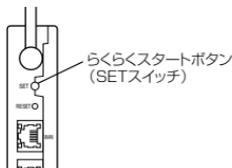
らくらく無線スタート EX で設定する

1 **次の画面が表示されることを確認する**

※1 分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

らくらく無線スタート EX を起動するには

あとかららくらく無線スタート EX を起動するときは、[スタート] をクリックし、[プログラム] − [らくらく無線スタート EX] − [らくらく無線スタート EX] をクリックします。

2 **無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す**

3 **らくらく無線スタートの準備ができているか確認する**

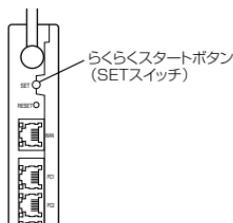
※ 30 秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

!

どちらか片方しか上記の状態になっていない場合は、他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。
無線 LAN 内蔵パソコンで［キャンセル］をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1 から設定をやり直してください。

（次ページに続く）

4 もう一度無線LANアクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を押し、手順5の前面のPOWERランプが橙点灯状態になったら離す

らくらくスタートボタン
（SETスイッチ）

5 無線設定が完了していることを確認する

無線LAN内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。

無線LANアクセスポイント（親機）

前面のPOWERランプが約10秒間橙点灯することを確認します。

※前面のPOWERランプは約10秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

●無線LANアクセスポイント（親機）側で「MACアドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線LAN端子（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタートEXでの無線設定登録のときに、MACアドレスフィルタリングにも新たに登録されます。
ただし、MACアドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートEXは失敗になります。

●無線LANアクセスポイント（親機）側で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートEXでの設定をすることができます。

無線 LAN 内蔵パソコンの設定

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンと無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線通信を確立する設定を行います。
ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。ここでは、Windows® XP の場合を例に説明しています。

1　パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能が ON になっていることを確認する

- 点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
- それぞれのワイヤレススイッチの ON ／ OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2　［スタート］ー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［通信］ー［ネットワーク接続］をクリックする

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

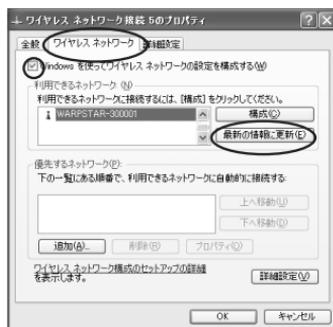
3　［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4　［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックする

①「Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する。
②［最新の情報に更新］をクリックし、「利用できるネットワーク」欄から接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、「構成」をクリックする。
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時のネットワーク名（SSID）、暗号化キー（WEP）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。
（☛P5-18）

（次ページに続く）

5
WARPSTARを活用しよう

Windows® XP（Service Pack 2）の場合は次の手順で接続します。
①[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックする
②ワイヤレスネットワークの選択画面で接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名「WARPSTAR-XXXXXX」を選択し、［接続］をクリックする
無線LANアクセスポイント(親機)に暗号化の設定をしている場合のワイヤレスネットワークでの設定方法はP5-18を参照してください。

お知らせ

●一覧を更新しても無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、一度無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、無線LANアクセスポイント（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度［最新情報に更新］をクリックしてください。
●ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が有効となっている場合は、「利用できるネットワーク一覧」に無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してやり直してください。

5 ネットワーク名（SSID）と暗号化設定を確認して［OK］をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時のネットワーク名、暗号化キー（WEPキー）は、底面のラベルに記載されていますので、参照して入力してください。

お知らせ

- ●セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを困難にすることができます。
- ●無線LANアクセスポイント（親機）で暗号化キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に無線LANアクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーの設定方法、確認方法については、P5-4を参照してください。ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化の設定が152bitWEPやAES、TKIPを使用している場合は、接続できない場合があります。
- ●キーのインデックス（詳細）を無線LANアクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。ただし、Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は、キーのインデックス（詳細）が0～3と表示されますので、1～4と読み替えてください。（数字が1つずれていますので注意してください。）

6 **［OK］をクリックする**

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

WARPSTARの設定

クイック設定WebでWARPSTARの設定を行います。

■クイック設定Webで設定する

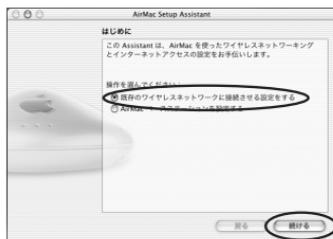
「3章　クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う」（☛P3-1）を参照して設定を行ってください。

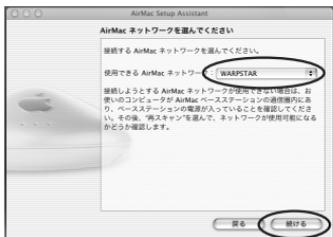
5-11 AirMac対応のパソコンから接続する

画面表示はMac OSのバージョン等により、変わることがあります。
ここではMac OS X（v10.1）の場合を例に説明しています。

1 「AirMac Setup Assistant」を起動する

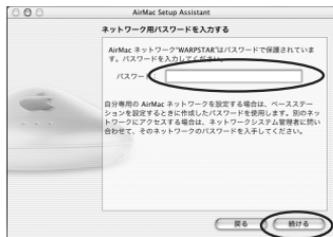
AirMacソフトウェアのバージョンによっては、「AirPort Setup Assistant」と表示される場合があります。

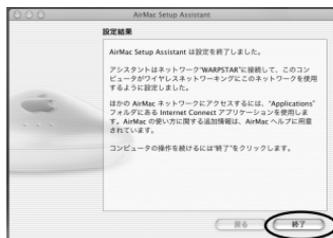
2 「既存のワイヤレスネットワークに接続させる設定をする」を選択し、［続ける］をクリックする

3 「使用できるAirMacネットワーク」で無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名を選択し、［続ける］をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時のネットワーク名、暗号化キー（WEPキー）は無線LANアクセスポイント（親機）の底面のラベルに記載されています。（☛P5-18）

お知らせ

●ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が有効となっている場合は、「使用できるAirMacネットワーク」に無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）は無効にしてください。

4 無線LANアクセスポイント（親機）に無線LANの暗号化を設定している場合は、「パスワード」に暗号化キーを入力し、［続ける］をクリックする

※ 無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時の暗号化キー（WEPキー）は無線LANアクセスポイント（親機）の底面のラベルに記載されています。（☛P5-18）

5　［続ける］をクリックする

6　［終了］をクリックする

お知らせ

●ネットワークの選択リストに「WARPSTAR-XXXXXX」がない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切り、再度電源を入れ直して、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから再度、プルダウンメニューをクリックしてください。（電源は、10 秒ほど待ってから、入れ直してください。）

Mac OS 9.2.1 をご利用の場合

●Mac OS 9.2.1 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。

① AirMac に接続した Macintosh を起動する

② ［メニューバー／アップルメニュー］から［AirMac］を選択する
AirMac の設定ツールが起動します。

③ ［AirMac ネットワーク］の［ネットワークの選択］欄のプルダウンメニューから、無線 LAN アクセスポイント（親機）を選択する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）の出荷時のネットワーク名は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面のラベルに記載されています。

ご参考

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

お困りのときには

6

6-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☛P6-26）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（機能詳細ガイド）

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

無線LANアクセスポイント（親機）前面のPOWERランプは点灯していますか？ →いいえ（a参照☛P6-3）

↓はい

無線LANアクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDは緑または赤点灯していますか？ →いいえ（b参照☛P6-3）

↓はい

無線LAN通信はできていますか？

無線LAN端末（子機）からの接続の場合	無線LANアクセスポイント（親機）と正しく接続されていますか？

→いいえ（c参照☛P6-4）

↓はい

パソコンにIPアドレスが設定されていますか？
（確認方法は、P6-7を参照してください） →いいえ（d参照☛P6-7）

↓はい

無線LANアクセスポイント（親機）の設定が行えますか？
WWWブラウザ（クイック設定Web）で無線LANアクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？ →いいえ（e参照☛P6-8）

↓はい

＜PPPoEモードの場合＞
設定後、無線LANアクセスポイント（親機）前面のPPPランプが点灯していますか？
※ローカルルータモードの場合は、PPPランプは点灯しません。 →いいえ（f参照☛P6-10）

＜ローカルルータモードの場合＞
・WAN側IPアドレスが正しく表示されていますか？
・クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］－［状態表示］でWAN側IPアドレスが表示されていますか？ →いいえ（g参照☛P6-11）

↓はい

インターネットに接続できましたか？ →いいえ（h参照☛P6-12）

a.無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が外れている →AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線 LAN アクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない

症　状	原因と対策
ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ●ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリー 5）」であることを確認してください。（☛P7-4）

（次ページに続く）

6 お困りのときには

症　状	原因と対策
ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯しない （つづき）	●無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポート（PC1）を添付のETHERNETケーブルで接続してみる。 ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが点灯する場合 無線LANアクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモデム/回線終端装置が故障している可能性があります。 点灯しない場合 無線LANアクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線LANアクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

c.無線LAN通信ができない

症　状	原因と対策
サテライトマネージャの通信状態が範囲外または使用不可になっている	●WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）を接続する ●暗号化キーが無線LANアクセスポイント（親機）、無線LAN端末（子機）間で一致しているか確認してください。（☛P5-4、5-11、5-18、5-37）

症　状	原因と対策
サテライトマネージャの通信状態が範囲外または使用不可になっている （つづき）	●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.0.＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●WL54AG（無線 LAN カード）またはWL54TU（無線 USB スティック）から接続している場合は、サテライトマネージャに関する問題（☛P6-17）も参照してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）や無線 LAN 端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。 ●WL54AG（無線 LAN カード）をご利用の場合、別売りのワイヤレス LAN 外部アンテナ（WL54AG 用）（PA-WL/ANT3）〔121ware（http://121ware.com/）で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）
Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●WL54AG（無線 LAN カード）またはWL54TU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54AG（無線 LAN カード）またはWL54TU（無線 USB スティック）を接続する

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
WL54TE（ETHERNET ボックス）の POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が外れている →AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると WL54TE（ETHERNET ボックス）に供給されている電源も切れてしまいます。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先にご相談ください。
WL54TE（ETHERNET ボックス）の AIR ランプが点滅しない	●無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54TE（ETHERNET ボックス）との間の無線状態が悪い場合があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54TE（ETHERNET ボックス）を近づけてみてください。 また、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54TE（ETHERNET ボックス）が近すぎても通信できない場合があります。この場合は 1m 以上離してご使用ください。 ●設定に誤りがある場合があります。 ※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☛P6-28）

d.パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	●パソコンの設定で「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線LANアクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順でIPアドレスを取り直す < Windows® XPの場合> ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押す ③IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する < Windows® 2000 Professionalの場合> ①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する < Windows® Meの場合> ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする ②「winipcfg」と入力して［OK］をクリックする ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用しているEthernetアダプタ名を選択する ④［解放］をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは［OK］をクリックする ⑤［書き換え］をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する

e.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力してください。 「例：http://192.168.0.210」 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(☛P1-17、P1-23)
WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される 	●WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 →ユーザー名には、［admin］を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。

症　状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web が開かない	● JavaScript® が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください。（☛P1-24） ● 複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。WWW ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた無線 LAN アクセスポイント（親機）のグローバル IP アドレス（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。 ● ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。（☛P1-18）

f.PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない	●パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している	●無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダ等から送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 を合わせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jp と入力するのが一般的です。

g.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない	●ブロードバンドモデム/回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ●接続事業者から指定された IP アドレス情報が正しく設定されているか確認してください。 らくらく Web ウィザード（☛P3-4） クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」（☛P3-11） ●ブロードバンドモデム/回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は本商品の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20 ～ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。 ●CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－［接続先設定］からドメイン名やホスト名を入力してください。 ●CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－［接続先設定］からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。

h.インターネットに接続できない

● ADSL 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	●WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 →LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。（☛P1-23）
インターネット接続中に回線が切断される	●PPPoE モードの場合、無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはクイック設定 Web の［接続先設定］の［接続先の切断］で設定できます。
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 ［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。 ●ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 →次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」－「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている (2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.2.1"など下から 2 桁目を変更して、［設定］をクリックします。 (3)［登録］をクリックします。

症　状	原因と対策
ルータタイプ ADSL モデムに接続している（つづき）	●無線 LAN アクセスポイント（親機）を無線 LAN アクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。 （☛P5-54） これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。
ADSL（PPPoE）接続できない	●ユーザー ID とパスワードが間違っている →ADSL インターネット接続のユーザー ID は、「*******@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 →ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE モードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。 ●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 →PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。 ●フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
ADSL（PPPoE）接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

● **CATV 接続に関するトラブル**

症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 →CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 →CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の［基本設定］－［接続先設定］または、らくらく Web ウィザード（☛P3-4）でドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 →CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の［基本設定］－［接続先設定］または、らくらく Web ウィザード（☛P3-4）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN 側 IP アドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。
●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」をご確認ください。
IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］をクリックし、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。
→CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。
クイック設定 Web「接続先設定」で「IP アドレスの自動取得」の「要求する」のチェックを外します。
●CATV ケーブルモデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。
→次の手順で、IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。
（1）IP アドレスを確認します。
WAN 側：クイック設定 Web の「情報」－［現在の状態］の「WAN 側状態」－「IP アドレス」が空欄になっている
（2）IP アドレスを変更します。
クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を "192.168.2.1"など下から 2 桁目を変更して、［設定］をクリックします。
（3）［登録］をクリックします。</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、空欄になってしまう</td></tr>
</table>

6

お困りのときには

ユーティリティに関するトラブル

●無線LANアクセスポイント（親機）のクイック設定Webに関する問題

症　状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●無線LANアクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。（☛P6-27） ただし、クイック設定Webの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（機能詳細ガイド）
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	クイック設定Webで確認することができます。「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］をクリックしても、状態が反映されない	●［登録］をクリックしていない →各設定項目において、［設定］をクリックしても状態は反映されません。 左側フレーム内の［登録］をクリックし、無線LANアクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。
［登録］をクリックした後に、「ページを表示できません」と表示される	●無線LANアクセスポイント（親機）が再起動しているためです。 →［登録］をクリックすると、無線LANアクセスポイント（親機）が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWWブラウザを終了し、再度、WWWブラウザを起動してください。

症　状	原因と対策
「PlayStation® BB Navigator」を使ってクイック設定Webの設定ができない	●「PlayStation® BB Navigator」を使ってクイック設定Webで設定を行えるのは、「3-2　インターネット接続のための基本設定」（☛P3-4）のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。
WL54TE（ETHERNETボックス）のWWWブラウザの設定画面が表示されない	● パソコンのIPアドレスが正しく設定されているか確認してください。（☛P1-18） すでにWL54TE（ETHERNETボックス）が、無線LAN等によりDHCPサーバの存在するネットワークに接続されている場合は、WL54TE（ETHERNETボックス）のIPアドレスがDHCPにより変わってしまっている可能性があります。この場合は、ネットワーク内のDHCPサーバ（ルータやADSLモデム等）の電源を切り、再起動したうえで設定をしてください。DHCPサーバがない状態でWL54TE（ETHERNETボックス）を再起動するとWL54TE（ETHERNETボックス）のIPアドレスは工場出荷時の設定（192.168.0.205）に戻ります。

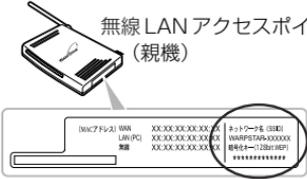
●サテライトマネージャに関する問題

症　状	原因と対策
Windows® XP/2000 Professionalで、サテライトマネージャがインストールできない	● Administrator権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャが使用できない	● WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールされていません。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）を接続する

（次ページに続く）

6 お困りのときには

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない （つづき）	●前ページの手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。 〈Windows® XPの場合〉 ①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする ②［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする ③［システム］アイコンをクリックする ④［ハードウェア］タブをクリックする ⑤［デバイスマネージャ］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG)］または［NEC AtermWL54TU（PA-WL/54TU)］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® 2000 Professionalの場合〉 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［ハードウェア］タブをクリックする ④［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑥［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG)］または［NEC AtermWL54TU（PA-WL/54TU)］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑦［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® Meの場合〉 ※WL54TU（無線USBスティック）はWindows® Meではご使用になれません。 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［デバイスマネージャ］タブをクリックする ④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑤［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG)］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑥［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

症　状		原因と対策
WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）が使えない	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認してください。 ●通信モードがあっているか確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、［設定］をクリックして確認します。 ●ネットワーク名（SSID）があっているか確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）に合わせて設定してください。 ※無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時設定は、底面に記載されています。 無線LANアクセスポイント（親機） WARPSTAR 〈MACアドレス〉 WAN XX:XX:XX:XX:XX:XX LAN (PC) XX:XX:XX:XX:XX:XX 無線 XX:XX:XX:XX:XX:XX ネットワーク名（SSID） WARPSTAR-XXXXXX 暗号化キー（128bit WEP） ************* ●通信モードが「アドホック通信」の場合は、チャネル番号が一致しているか確認してください。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、［設定］をクリックして確認します。 ●無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか確認してください。

（次ページに続く）

症　状		原因と対策
WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）が使えない（つづき）	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる （つづき）	●WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）のランプのつき方（☛P1-12、1-15）を確認してください。 消灯している場合はWL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）が無線LANアクセスポイント（親機）を正しく認識していません。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、［設定］をクリックして、無線LANアクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 →お互いを数メートル以上離してお使いください。
	［サテライトマネージャ］は使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化の設定をしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化キーが一致しているか確認してください。（☛P5-4、5-11、5-18、5-37） ●Windows® XPをご利用の場合は、［Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。（☛P5-17）
	ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）のパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］で設定し直してください。 ●サテライトマネージャ「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で［スキャン］をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名で無線LANアクセスポイント（親機）を識別できます。 ●無線LANアクセスポイント（親機）背面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P6-27）出荷時のネットワーク名の設定は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☛P6-19）

症　状		原因と対策
WL54AG（無線LANカード）または WL54TU（無線USBスティック）が使えない（つづき）	「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）がみつからない	●電波状態により「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］の「子機の接続制限」で「ESS-IDステルス機能」（SSIDの隠蔽）を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 ［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●WL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●Ethernetインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードまたはLANボードの機能を停止させないとWL54AG（無線LANカード）またはWL54TU（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードまたはLANボードの機能を停止させてから、サテライトマネージャでの設定を行ってください。（☛P2-9、2-10）
	暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）に接続したパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］で設定し直してください。（☛P5-4） ●無線LANアクセスポイント（親機）を工場出荷状態に戻してください。（☛P6-26）ネットワーク名（SSID）や暗号化設定（WEPキー）は本体底面のラベルの値に戻ります。（☛P6-19）
		●「無線状態が良好なのに通信できない」（☛P6-24）を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>時々通信が切れる</td><td rowspan="3">●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。</td></tr>
<tr><td>途中から通信速度が遅くなった</td></tr>
<tr><td>通信が切断されることがある</td></tr>
<tr><td>使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx　は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</td><td>●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。
＜ IP アドレスの再取得＞
＜ Windows® XP の場合＞
①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す
③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
＜ Windows 2000® Professional の場合＞
①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す
③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
＜ Windows® Me/98 の場合＞
①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする
②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックする
③Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択する
④［解放］をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認する
「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。
⑤［書き換え］をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する</td></tr>
</table>

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モード、ローカルルータモード共通）	●パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、前ページを参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 前ページの「IP アドレスの再取得」を行ってください。
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モードの場合）	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない （ローカルルータモードの場合）	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム/回線終端装置と無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP の解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●「使用チャネル」の番号を変更してください。 →クイック設定 Web を起動して［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］内の「アクセスポイント設定」の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが IEEE802.11g+b モードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから 3 チャネル以上あけるようにしてください。 ・無線動作モード IEEE802.11g+b モードの場合：設定値 1 ～ 13 ・無線動作モード IEEE802.11a モードの場合：設定値 34,38,42,46 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる →1m 以上離してください。 →WL54AG（無線 LAN カード）の場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げてみてください。（☛P5-13） その場合、遠くにある WL54AG（無線 LAN カード）から接続しにくくなります。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IPアドレスの再取得〉（☛P6-22）を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X） ●他のLANカードまたは、LANボードの機能を停止させてください。（☛P2-9、2-10）
WL54AG（無線LANカード）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（親機との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください（☛P6-23） ●サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする。（☛P5-13） ●ＡＶサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。
サテライトマネージャの親子同時設定が使用できない	●無線LANアクセスポイントモードに設定している場合や無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを変更している場合は、「WARPSTAR（親機）が見つかりませんでした。」画面で無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力し［再接続］をクリックしてください。 ●次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <Windows® XPの場合> ①「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックする ②"ipconfig /renew"を入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認する <Windows® 2000 Professionalの場合> ①「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックする ②"ipconfig /renew"を入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認する

症　状	原因と対策
サテライトマネージャの親子同時設定が使用できない (つづき)	<Windows® Me の場合> ※WL54TU（無線 USB スティック）は Windows® Me ではご使用になれません ①「スタート」「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックする ②"winipcfg"を入力して［OK］をクリックする ③使用している Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続しているアダプタ名(Aterm WL54AG(PA-WL/54AG))を選択する ④［解放（S)］をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認する 「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤［書き換え（N)］をクリックして、IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認する

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合は ☒ をクリックします。（機種によっては［終了］をクリックします。） ●Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ●Windows® Me の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます（ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります）。 ①［コントロールパネル］の［システム］をダブルクリックする ②［デバイスマネージャ］タブの［CD-ROM］をダブルクリックする ③使用する CD-ROM ドライブをクリックし、［プロパティ］をクリックする ④［設定］タブをクリックする ⑤［オプション］の［自動挿入］または［挿入の自動通知］のチェックを外す ⑥［OK］をクリックし、Windows® Me を再起動する

6-2 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。無線 LAN アクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
RESET スイッチで初期化する（☛P6-27）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線 LAN アクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/
※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、設定した IP アドレスを入力してください。
（例： http://192.168.0.210/）

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の ▼ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする

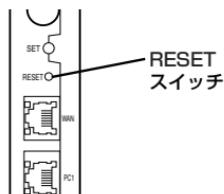
6 [OK] をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

RESETスイッチで初期化する

無線LANアクセスポイント（親機）のRESETスイッチを使って初期化を行います。RESETスイッチは、背面にあります。

1 **無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する**

2 **無線LANアクセスポイント（親機）の背面にあるRESETスイッチをボールペンの先などで５秒押す**

3 **POWERランプが赤点滅することを確認して、RESETスイッチを離す**

4 **無線LANアクセスポイント（親機）の電源ジャックをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む**

お願い

- ●無線LANアクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。
- ●無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合がありますので、無線LAN端末（子機）の暗号化設定を行ってください。

6-3 WL54TE（ETHERNET ボックス）を初期化する

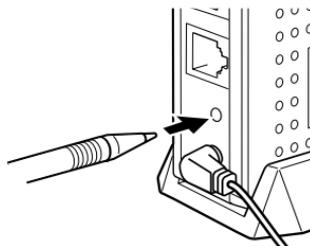
WL54TE（ETHERNET ボックス）に設定した内容を消去して初期値にします。
WL54TE（ETHERNET ボックス）がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL54TE（ETHERNET ボックス）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
また、ワイヤレスセットの場合は、初期化すると工場出荷時の設定（無線設定、ネットワーク名、暗号化キーの設定）が消去されますので再設定が必要になります。

スイッチで初期化する

1 WL54TE（ETHERNET ボックス）の電源が入っていることを確認する

電源を入れ直した場合や電源を入れた場合は WL54TE（ETHERNET ボックス）が起動するまでしばらく待ちます。（30 秒程度）

2 WL54TE（ETHERNET ボックス） の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで約５秒間押す

リセットスイッチを押している間、AIR ランプが薄い橙に点灯します。

3 リセットスイッチからボールペンなどを離す

しばらくするとLAN1、LAN2 ランプが同時に点滅します。さらに、しばらくするともう一度LAN1、LAN2 ランプが同時に点滅します。
WL54TE（ETHERNET ボックス）が再起動し、設定が初期化されます。
※WL54TE（ETHERNET ボックス）の ETHERNET ポートと接続している機器がある場合はLAN1、LAN2 ランプが点灯している場合があります。

■ WL54TE（ETHERNET ボックス）の初期値

WL54TE（ETHERNET ボックス）を初期化すると、次のような設定になります。

設定項目			工場出荷時の設定値 （ワイヤレスセットの場合）	初期値
無線設定	通信モード		アクセスポイント通信モード	アクセスポイント通信モード
	無線モード		自動的に無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に従います	
	ネットワーク名（SSID）		WR6600H（親機）底面の無線 LAN 設定ラベルに記載	WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は MAC アドレスの下６桁）
	使用するチャネル		自動的に無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に従います	
	暗号化モード		WEP128bit	使用しない
	暗号化キー	キー１	WR6600H（親機）底面の無線 LAN 設定ラベルに記載	未設定
		キー２	未設定	
		キー３		
		キー４		
	使用する暗号化キー		1	1
IP アドレス	IP アドレス（DHCP 無効時）		192.168.0.205	192.168.0.205
	ネットマスク（DHCP 無効時）		255.255.255.0	255.255.255.0
管理者設定	管理者名		admin	admin
	管理者パスワード		未設定	未設定

お知らせ

●ワイヤレスセットの場合、無線設定・ネットワーク名（SSID）・暗号化キーの設定は、WR6600H（親機）底面の無線 LAN 設定ラベルに記載されています。ワイヤレスセットの工場出荷時への設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

7

付録

7-1 製品仕様

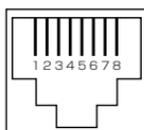
WR6600H（親機）ハードウェア仕様

項　目			諸元および機能	備　考
WAN インタフェース	インタフェース		ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX/10BASE-T）	Auto MDI-X 対応
	データ転送速度		100Mbps/10Mbps	
LAN インタフェース	物理 インタフェース		8ピンモジュラージャック（RJ-45）×4ポート	
	インタフェース		100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI-X 対応
	伝送速度		100Mbps/10Mbps	
	全二重／半二重		全二重／半二重	自動判別
無線LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	5.2GHz帯（5150-5250MHz）/34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz）/1～13ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度（※1）	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz）/1～13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	アンテナ		ダイポールアンテナ	
	セキュリティ		ESS-ID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）	
ヒューマン インタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		PPP	PPPセッション確立時点灯	
		DATA	データ通信時点灯	
		AIR	IEEE802.11aモード設定時橙点灯 IEEE802.11b＋gモード設定時緑点灯 データ送受信点滅	
	スイッチ		セットスイッチ×1、リセットスイッチ×1	
動作環境			温度0～40℃　湿度10～90%	結露しないこと
外形寸法			約27（W）×125（D）×172（H）mm	突起部分を除く
電源			AC100V±10%　50/60Hz（SV）	ACアダプタ使用
消費電力			最大約8W	
質量(本体のみ)			約0.3kg	
VCCI			VCCIクラスB	

※ 1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※ Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定では、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが暗号化無効または、WEP（64bit/128bit）の場合にご利用になれます。（TKIP、AES は Windows® XP（Service Pack 2）搭載のパソコンの場合のみ対応しています。）

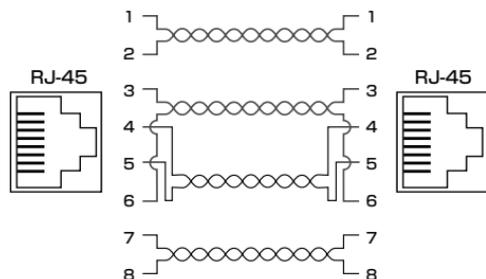
ETHERNET ポートインタフェース

コネクタ形状

●ETHERNET ポート
（100BASE-TX ／ 10BASE-T）

ピン番号	略称	機能
1	RD＋	受信データ　＋
2	RD－	受信データ　－
3	TD＋	送信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD－	送信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD＋	送信データ　＋
2	TD－	送信データ　－
3	RD＋	受信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD－	受信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNET ケーブル（カテゴリー５）

WL54AG（無線 LAN カード）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸　元		備　考
端末インタフェース		Card Bus		
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	5.2GHz 帯（5150-5250MHz）/34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2400-2497MHz）/1 ～ 14ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度（※1）	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2400-2484MHz）/1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）		
	セキュリティ	ESS-ID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）		
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 2		
利用可能端末		PC-AT 互換機		
利用可能 OS		Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® Me 日本語版		
電源		DC3.3V × 710mA		パソコンから給電
消費電力		約 2.4W（最大）		
外形寸法		約 54（W）× 118（D）×5（H）mm		突起部除く
質量		約 0.05kg		
動作環境		温度 0 ～ 40℃　湿度 10 ～ 90％		結露しないこと

※ 1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※ Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定では、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが暗号化無効または、WEP（64bit/128bit）の場合にご利用になれます。（TKIP、AES は Windows® XP（Service Pack 2）搭載のパソコンの場合のみ対応しています。）

WL54TE（ETHERNET ボックス）仕様

■ 仕様一覧

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">諸元および機能</th></tr>
<tr><td rowspan="4">LAN
インタ
フェース</td><td>物理インタ
フェース</td><td colspan="2">８ピンモジュラージャック（RJ-45）×２ポート</td></tr>
<tr><td>インタフェース</td><td colspan="2">100BASE-TX/10BASE-T（Auto MDI-X 対応）</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td colspan="2">100Mbps/10Mbps</td></tr>
<tr><td>全二重／半二重</td><td colspan="2">全二重／半二重（自動判別）</td></tr>
<tr><td rowspan="12">無線 LAN
インタ
フェース</td><td rowspan="3">IEEE802.11a</td><td>周波数帯域/
チャネル</td><td>5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）／
34/38/42/46ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11b</td><td>周波数帯域/
チャネル</td><td>2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）
/1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11g</td><td>周波数帯域/
チャネル</td><td>2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）
/1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="2">ダイポールアンテナ</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="2">ESS-ID、WEP(152/128/64bit)、
WPA-PSK（TKIP、AES）</td></tr>
<tr><td>通信モード</td><td colspan="2">アクセスポイント通信、パソコン間通信</td></tr>
</table>

※表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

項　目			諸元および機能
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯
		LAN1	LAN1 ポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100Base-TX 時緑点灯、10Base-T 時橙点灯
		LAN2	LAN2 ポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100Base-TX 時緑点灯、10Base-T 時橙点灯
		AIR	IEEE802.11a 無線リンク確立時橙遅点滅、データ送受信時橙早点滅、 IEEE802.11b/IEEE802.11g 無線リンク確立時緑遅点滅、データ送受信時緑早点滅 リセットスイッチ押下中およびファームウェアのバージョンアップ中橙点灯
	リセットスイッチ		リセットスイッチ× 1
電源			AC100V ± 10%　50/60Hz（AC アダプタ使用：出力 12V、1A）
消費電力			最大約 8W
外形寸法			約 30（W）× 109（D）× 97（H）mm（突起部分を除く）
質量（本体のみ）			約 0.2kg
動作環境			温度 0 ～ 40℃　湿度 10 ～ 90%（結露しないこと）

WL54TU（無線USBスティック）仕様

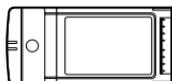
■ 仕様一覧

項　目		諸　元		備　考
端末インタフェース		USB（USB2.0推奨 ※1）		
無線LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル	5.2GHz帯（5150-5250MHz） /34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度 （※2）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz） /1～13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度 （※2）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2400-2497MHz） /1～14ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度(※2)	11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)	
	アンテナ	内蔵アンテナ（ノンダイバーシティ）		
	セキュリティ	ESS-ID、WEP(64/128/152bit)、WPA-PSK(TKIP、AES)		
ヒューマンインタフェース		状態表示LED×1		
利用可能端末		PC-AT互換機		
利用可能OS		Windows® XP日本語版 Windows® 2000 Professional日本語版		
電源		DC5V×420mA		パソコンから給電
消費電力		約2.1W（最大）		
外形寸法		約31（W）×121（D）×11（H）mm		コネクタ部含む
質量		約0.03kg		
動作環境		温度0～40℃　湿度10～90％		結露しないこと

※1 USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。WL54TUのUSBハブとの接続は保証の限りではありません。
※2 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。
※Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定では、無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化モードが暗号化無効または、WEP（64bit/128bit）の場合にご利用になれます。（TKIP、AESはWindows® XP（Service Pack 2）搭載のパソコンの場合のみ対応しています。）

7-2 別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。（製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。）

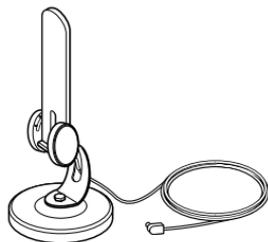
■無線LANカード
Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）

Aterm WL54AC（PA-WL/54AC）
Aterm WL11CB（PC-WL/11C(B)）
Aterm WL11CA（PC-WL/11C(A)）
Aterm WL11C（PC-WL/11C）
Aterm WL11C2（PA-WL/11C2）
Aterm WL54AG-SD（PA-WL/54AG-SD1）

※ WL54ACはIEEE802.11aモード時のみ利用できます。
※WL11CB/WL11CA/WL11C/WL11C2はIEEE802.11g+IEEE802.11bモード時のみ利用できます。
※ WL11Cでの暗号化は通常のWEP（64bit）のみになります。

■無線USBスティック（USB2.0推奨）
Aterm WL54TU（PA-WL/54TU）
パソコンのUSBポートに接続します。

■無線LAN USBボックス
Aterm WL11U（PC-WL/11U）
Aterm WL11U（W）（PC-WL/11U（W））
パソコンとUSBで接続します。
※WL11U/WL11U（W）はIEEE802.11g+IEEE802.11bモード時のみ利用できます。
※ WL11U/WL11U（W）での暗号化は通常のWEP（64bit）のみになります。

■無線LAN ETHERNETボックス
Aterm WL11E2（PA-WL/11E2）
Aterm WL54TE（PA-WL/54TE）
パソコンとETHERNETケーブルで接続します。
※WL11E2はIEEE802.11g+IEEE802.11bモード時のみ利用できます。

■ワイヤレスLAN外部アンテナ（WL54AG用）（PA-WL/ANT3）
電波状態が悪いときなど、WL54AG（無線LANカード）に接続して使用します。（WL54AG（S）、WL54AG-SDも含みます。）
ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

お知らせ

●オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップShop@Aterm(http://shop.aterm.jp/)でもご購入いただけます。

7-3 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、ホームページ AtermStation に掲載されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

用語	解説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速な常時接続環境を提供する。
AtermStation（エータームステーション）	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121 ware.com/aterm/（2005 年 2 月現在）。
BIGLOBE（ビッグローブ）	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレス等必要な情報を自動的に割り振る方法。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバーを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。 光ファイバーでは最大で毎秒 100Mbps のスピードでコンピュータのデータ、映像、音声などの情報を流すことが可能。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例： 192.168.0.10）。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoA	PPP over ATMの略。高速交換システムで使用されるATM（Asynchronous Transfer Mode）の上でPPP通信を行うための接続方式。ATM上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。 ADSLでもPPPoEと並び使用される通信方式。
PPPoE	PPP over ETHERNETの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術。ETHERNET上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。
UPnP	Universal Plug and Play（ユニバーサルプラグアンドプレイ）の略で、XML技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。 ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)とは、デバイスのプラグアンドプレイ(PnP)機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にする。

【あいうえお順】
【あ行】

アップリンクポート	カスケード接続用ポートとも呼ばれる。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやＷＡＮなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクという。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ／ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替える。

【か行】

クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

7-4 索引

[ア行]

[カ行]

[サ行]

7
付録

[ラ行]

7
付録

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載·無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り·記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。